

セッション4:

ようこそ、五次元から自由自在に願望を実現する
『和の成功法則-ザ・ワープ∞』

和の成功法則の提唱者
石崎絢一氏

和の成功法則・秘儀伝承者
大野靖志氏

セッション④

ようこそ、五次元から自由自在に願望を実現する
『和の成功法則-ザ・ワープ∞』

柳田：皆さん、こんにちは。

石崎：石崎絢一です。

柳田：ナビゲーターの柳田厚志です。石崎さん。

石崎：はい。

柳田：ついに。

石崎：ついに。

柳田：いよいよ来ましたね。

石崎：来ましたね。この清涼な場所に。

柳田：はい。こちら、前は石崎さんの海辺のベースでしたけれども。

石崎：そうですね。

柳田：ここはどこですか？

石崎：ここは大野さんの基地ですね。基地と言えばベースですけども。

柳田：ベースですね。

石崎：大野さんのテリトリーということになりますね。

柳田：オープニングで、大野さんのオープニングでちょっと出てくる、あの場所ですね。

石崎：そうですね。皆さんもご記憶にあるのではないかと思いますけれども。

柳田：はい。そんな場所から、最後のファイナルセッションをお届けしていきますけれども。

石崎：はい。

柳田：これまで、全3回のセッションと、2冊の冊子をご提供してきました。

石崎：はい。

柳田：大変な反響をいただいています。

石崎：本当に、昨年度も第1回目ということでご提供したのですが、それよりも全然、濃い感想をいただきまして。みなさまには長い長い動画を、本当にお付き合いいただきまして。本の方も、冊子ですけれども、見るのも大変だったと思うのですけれども。

柳田：ほぼ市販の本くらいのボリュームがありますからね。

石崎：そうですね。柳田さんに書けと言われたので、われわれも書きましたけれども。

柳田：(笑) 本当に、それぞれの冊子とセッションがリンクしていて、セッション1から順番に見ていくと、皆さんほとんどの方が、われわれの誤解なくお伝えしようという意図を汲み取っていただいて。

石崎：そうですね。

柳田：理解してくださっているなという感想をいただいていますよね。

石崎：はい。ここまで最後、ファイナルまで見ていただいている方は、少なからずとも興味があるのは当然のこと、ご納得いただいた部分が多かったからこそ、この動画を見ていただいているのじゃないかなと、勝手ながら思っていますけれども。

柳田：はい、そうですね。ということで、われわれもちょっとお伝えしましたけれども、このセッション3までと2冊の冊子で、基本的には和の成功法則のベースの部分というのをお伝えしています。

石崎：そうですね。

柳田：なので、例えば個人の成功ということに関して言うと、ここまでの情報で十分実現できる、それだけのものは出したつもりなのですからけれども。

石崎：そうですね。実際、普通のセミナーレベル以上のことはお話ができたのじゃないかなと思っていますので、

自分がどうしたいとか、お金を稼ぎたいとか、こういう伴侶を手に入れたいとか、こういうふうな形で人間関係をやっていきたいとか、そのへんは十分、この3回の動画で全然応用できるのじゃないかと思うのですけれどもね。

柳田：そうですね。で、ファイナルセッション。ここからは、さらに私たちと一緒にやっていきたいという方。

石崎：そうですね。

柳田：セッション3、あるいは冊子でもお伝えしましたけれども、これからの時代の成功というのは、全体の成功と個人の成功が一致したものであると。

石崎：そうですね。公と私ですね。ここがちゃんと重ね合ったところをやっていくと、さっき言いましたけれど、個人の願望実現というのはもう、グリコのおまけのように付いてきてしまいますので。

ですので、これから見ていただくこの先は、ようは公の存在になっていただく。
OSを書き換えていただくと。

柳田：なるほど。

石崎：ご自身のOSを書き換えていただいて、新しい人間になっていただくというか、そういうふうに私たちは思っていますね。

柳田：ただ、公とって、「私はそんな聖人君子みたいじゃない」みたいな方もいらっしやると思うので。

石崎：ほんと、そうですね。

柳田：われわれもちろんそうじゃないですから。

石崎：僕なんかは本当に、どちらかというと俗物的というかですね。時計とかもいくつも持っていたり、車も何台も持っていたり、事業も好きですから。

よく、自己啓発の先生とかスピリチュアルの先生というのは、わりとそういう私生活を見せず、まじめな方が多いじゃないですか。

柳田：はい。

石崎：僕なんかはもうさらけ出して、現世は、現世利益でしっかりやりながら、そのパワーでやはり公に貢献していければなと思っていますので。

柳田：そうですね。それぞれの役割というのはあると思いますので、そういった意味での公という部分もあるのですけれども。

この後セッション4でお伝えしますが、**「ザ・ワープ∞(インフィニティ)」**の使命である**「ビジョン」**、そういったものをご覧いただいて、そこに共感できる方。

石崎：そうですね。

柳田：一緒に、われわれと一緒に、意識進化に貢献していきたいと。

石崎：そうですね。

柳田：そういう方に参加していただきたいなど。

石崎：そうですね。やっぱり、もっともっと変わっていかなきやいけない。本来の日本人の役割であったりですか。

やはり有限の地球の中で、しっかり貢献、公の意志で貢献をしていく。結果、すべて成功していくという、このロジックをわかっていただけの方ですね。

それをやっていただける方というのを私たちも欲しいので、ぜひ興味のある方は続いてきていただければと思っております。

柳田：そうですね。では、大野さんが中で待っていますので。

石崎：そうですね。中で多分、瞑想でもしているんじゃないでしょうか。

柳田：(笑) ということで、ここからは「ザ・ワープ インフィニティ」について、3人でお届けしたいと思いますので、中に行きましょう。

石崎：はい。あ、靴を脱がないといけませんね。

柳田：そうですね。

石崎：ちゃんとした場所なので。

柳田：そうですね。

石崎・柳田：おお～。

柳田：さすが。

石崎：さすがですね。すごい集中力でしたね。

柳田：大野さん（笑）、瞑想されましたね。

石崎：すごいですね。真似できないですね、僕らのような凡人には。

柳田：そうですね（笑）。

ということで、石崎さん、こちら、先ほどの祝殿（はふりでん）の中に入ってきました。鳥まで入ってきていますけど、大丈夫？

石崎：これ、本当だ、幸せのフクロウがやってきましたね。

柳田：はい（笑）。どんなものも受け入れるという。

石崎：そうですね。

柳田：ということなのですけれども。

こちら、オープニングの映像でも祝殿についてちょっとだけ触れられていたけども、ちょっと大野さんのほうからこちらにも、建物についてご説明いただけますか。

大野：はい。これは、祝殿の中の床の部分ですね。この床の部分が枯山水になっていまして、ちょうどその上にガラスが置いてあるのですけれども。

この床の上で、いろいろ行というか、そういった修業的なことをする場所の一部ということになりますね。

柳田：石崎さん、これ、われわれも何度か。

石崎：そうですね。何度かお伺いさせていただきまして、建物の中に入りましたね。

柳田：はい。本当に、神聖というか、すごく気持ちも落ち着きますよね。

石崎：そうですね。やはりエネルギーに満ちていますよね。清明なエネルギー

に満ちている空間で、敏感な方は何かいろいろなことを感じるみたいですね。

柳田：ということで、「和の成功法則 ザ・ワープ」ファイナルセッションは、ここ、祝殿の中からお届けしてみたいなど。皆さまにもパワーが伝わるように、お届けしたいなと思います。

ファイナルセッションなのですけれども、ちょっと最後のセッションに行く前に、これまでの復習といいますか、お送りしてきたことというのを、もう一度だけ確認していきたいと思っております。

こちらに早速スライドも出ていますけれども、「和の成功法則 ザ・ワープ」、去年は「ザ・ワープ」だったのですけれども、今年はさらに∞という。インフィニティということで、お届けしてきました。

それに見合うだけの、本来であれば有料であるような内容も含めて、ほとんど公開してきましたね。

石崎：そうですね。もう隠していてもしょうがないので、全然、普通お金をいただいてやるような内容だとは思うのですけれども、もう出してしまうおうということでやっております。

やはり、隠しているより出して、これが本物なのか、自分に必要なのか、ご自身で感じていただければ、すごくいいんじゃないかなと思うのですよね。

柳田：そうですね。ということで、本当に包み隠さずお伝えしてきましたけれども。

まずお伝えしたのが、セッション1では、いろいろお伝えはしましたけれども、私たちの意志が現象化のカギを握るところ。

これを後半、メインにお伝えしてきました。これは非常に多くの反響をいただきました。

石崎：そうですね。

柳田：やはりやり方ばかりに、あるいは思考というところで注力していた方々

も、在り方であったりだとか、意志が実現するのだというところに大きなポイントが。

石崎：そうですね。ともすれば毎日のように、インターネットとかいろいろな情報で、やり方ばかり流れてきますよね。「これで稼げる」とか。ですけど、この前の横綱の試合もあったじゃないですか。

柳田：はい。

石崎：横綱として、あの行為は良くないんじゃないかという。あれも在り方の話でしたよね。

柳田：そうですね。とてもわかりやすかったと思う。ちょっとご存知ない方もいるかもしれませんが、横綱が一番相撲の中では強い。横綱としてはあまり使わないような技を使ったというところなのですけども。

石崎：そうですね。

柳田：やはり、もし横綱の在り方であれば、やっぱりガチンと当たってと。

石崎：そうですね。何でもいから勝てばいいというものではなくて、やはり最高峰に立つ方がやっていい行為、行動ですね。そういったものがあると思いますし。実際、伝統のある、ようはスポーツではなく、国技ですからね。

柳田：そうですね。それ、例えば在り方というのは非常にわかったのですけれども、自分に置き換えてわかりづらいという方もいらっしゃるんで、そういう意味では、今の横綱の例であるとか。

もし皆さんが横綱だった場合に、どういう、そこから意志が出てくるかとか、言葉が出てくるかとかを考えていただくと、わかりやすいんじゃないかなと。

石崎：そうですね。これ、ちょっと横綱の話ではなくても、僕も経験があるのですけれど、僕の知り合いの方がやっている飲食店があるのですね。

カジュアルフレンチなのですけども、結構Jリーガーの方が来たりですとか、

プロゴルファーの方が来たりして、それなりの方が集まる所なのですけれども。

あるとき、僕らも行ってたのですね。そうすると、どう見ても普通じゃない稼ぎ方をしている人が女性と入ってきまして。で、ドーンと座って、ちょっとお酒が回ると、もういかに俺が稼いでいるかと。

柳田：なるほど。

石崎：いかに簡単に稼いでいるのかと。そういう話を、すごく周りの方に聞こえるような声で、延々とやっているのですよね。

僕らは見ていてすごく、ご飯がおいしくないし、お酒もおいしくなくなったのですね。

で、どうなったかという、そのマスターの方はやっぱり一本筋が通っている方。ようは在り方がしっかりしている方なので、お客さんに「ちょっとそういうお話、ここでやめていただけませんか」って言ったのですよ。

柳田：なるほど。

石崎：すると、結構、怖い顔をされて、「何言ってんの？ お前」みたいな態度を取ったのですね、そのしゃべっていた方が。

だけど、さらにちゃんとした態度を取って、「お引き取りいただけませんか」ということで、外に出したのですね。

だから、僕も見ていて、今、何でも簡単に稼げばいいとか、たくさん稼いだ奴が勝ちとか、そういう風潮があるじゃないですか。

でも、そのベースとなる人間性というか、在り方というのはやはりすごく大事で。別にこの世にお金を儲けに来ているわけではないと、僕は思うのですよね。

昔はちょっと僕もそっち系だったかもしれないですけれどもね。今はそう思うのですよね。

柳田：なるほど。稼ぎ方すらも。どう稼ぐかというのも。

石崎：そうですね。

柳田：それも在り方から出てきますよね。

大野さんもちよつとこちらの方で、ひと言いたきたいのですけれども。やり方と在り方という部分ですね。

大野：そうですね。これは前にお話ししたところかと思えますけれども。

在り方が確定していると、やり方というのは自然に出てきますし、逆に在り方がしっかりしていないと、これ一般的な話としても、人間的に魅力がないということになりますよね。

例えば、やり方がうまい方がいて、その人のもとに人が集まってくるとすると、そのやり方が認められているうちはいいですけれども、意外とそういったものは、時代性もありますし、また、すぐに陳腐なものになっちゃうわけですね。

ですけれど、在り方の魅力というのは、やはり底知れないものがあつたり、また、その在り方があるからこそ、そこからのやり方が、ある意味、縦横無尽に出てくるという、そういう側面もありますので。

やはりこの在り方の確定というのがしっかり。もちろん、どう決めるかという問題はありますけれども、ここに気持ちを置くことによって、だいぶ変わってくる世界があるのですよね。

柳田：なるほど。これをご覧の方も、その在り方自身というのは、われわれも、その人それぞれだから教えてもらうことはできないですけれども、ただ、そこを見詰め直すことで。

石崎：そうですね。

柳田：自分が本当にやりたい意志というものも出てくるんじゃないかなと思いますね。

石崎：在り方が逆にパシッと決まっていると、意志は軽い方がいいと言ってい

ますね。

柳田：そうですね。

石崎：だから、逆に軽くできるのですよね。ようは土台がしっかりしているの
で、実は発動のほうの意志は、すごく軽くなると僕は思っていますね。

柳田：なるほど。そして、ちょっと次に行きたいのですけれども、こちらも結
構反響がありましたけども、「和の成功法則＝寄せ鍋の法則である」ということ
でお伝えしました。

これ、非常にわかりやすかったと。

石崎：そうですね。包み込みますよと。順序はないですと。ルールも穏やかで
すよと。みんなが楽しめますし、上下もないと。包み込みですね、完全な。

柳田：そうですね。遅れて入ってきても大丈夫。

石崎：そうですね。本当にすごく、この「和の成功法則」を言いあらわしてい
ますよね。

柳田：言いあらわしていますよね。あの後、皆さん鍋を食べたという人も多か
った。

石崎：ああ、多かったですね。なんか野菜がちょっと茶色く見えたって言うん
です。これは、画像がどうしてもそうなっちゃうのですね。本当はちゃんとグ
リーンなのですけれど。グリーンが抜けちゃうのですよね。

柳田：そうですね。

石崎：そうね、僕たち、茶色の野菜を食べていたわけではないので。

柳田：(笑) ということで、セッション1までだったのですけれども、そしてセ
ッション2でお届けしたのは、日本語、あるいは言霊、そしてその周波数。

そういったところも、検証結果を含めて、研究所の科学的な成果も含めて公開

したところ、これまた大反響をいただきました。

石崎：そうですね。科学的というのはなかなか、こういう見えない世界、こういう成功法則であったりとか、スピリチュアルだというのは、なかなかないと思うのですよね。

これが明確に示されている。これは大きな根拠になると思うのですよね。

柳田：そうですね。そして、そのうえでなのですけども、セッション 2 の最後でお伝えしたのがこちら、「私の意志と公の意志が交わったところ」。これが実現していくのだよということをお聞きしました。

石崎：そうですね。ほとんどの成功法則、私の意志ですね。「私がどうなりたいたのか」ばかりに特化というか、焦点を当ててやっていますので、大野さんの的に言うと子音ですよね。

子供だけがなんとかやろうと。お母さんの助けが入ってこないよと。お母さんの助けを求めるといふか、いただくなら、やはり公ですね。公的な意識を持つてやると、自分の意志も含めて実現しやすいと。

柳田：地球にも繋がりやすいという話でしたね。

石崎：はい、そうですね。

柳田：最大のパラドックスというのが、公がかなってしまえば、私的な願望というのも実はかなっていると。

石崎：そうですね。僕はまさしくその私（し）の意志というか、私の成功法則をずっと求めてやってきたのですね。18 ぐらいから興味を示してやってきたのですけれども。

公のことを含めて考えるようになって、ようは階層視をするようになると、私は本当に簡単になってくるので。本当にこれ、不思議なのですけれどもね。多分お母さんのお助けがあるんじゃないかなと思いますね。

柳田：なるほど。その階層視というあたりというのは、またこの後詳しくお伝

えしたいとは思うのですけれども。

大野さん、こちらセッション2、ひと言いただけますか？

大野：今お話があった、私の意志という世界と公という部分のお話ですけれども、これ、ぜひ皆さんに覚えていただきたいのですけれども。

これは、ある実験でわかっていることが、自分で自分に祈る場合と、自分が人に祈る場合で、願いの叶い方にすごい差が出るのですね。

結論から言いますと、自分で自分のことを祈るよりも、自分が他人のことを祈った方が、結果としては非常に良くでるわけですね。

これは何を意味するかと言いますと、自分で自分のことを祈ると、そこに重さが発生して、あるいは緊張感とか、あるいは当然欲望がありますので、重さが発生して、なかなかうまくいかないのですね。

ところが、他人、これは自分の親兄弟も含めになりますけれども、への祈りというのは、これ、意外と良い祈りができるのですね。重くならず。「こうでなければならぬ」というのがないわけですね。

従って、どういうことが言えるかと言いますと、自分の意志という、私の意志だけではなく、本当に全体を考えた公の意志と、私の意志というのを合わせたところで祈りを出すと、先ほど「他人への祈りが、効果がある」というお話をしましたけども、それと同じようなことが実際に起きる。

また、そういう実例が山ほどあるという、そういうことなのです。

柳田：なるほど。そうすると、この図で言うと、この真ん中の部分から出やすくなるというか、そういう人の念をもって発した意志というのは、きれいなものが、いわゆる五次元から出ているということですね。

石崎：そうですね。これはまたテクニックというか、もっとわかってくると、自分を他人のように見られる。見るができるようになると、また自分の夢とかでも叶えやすいという。

柳田：なるほど。

石崎：これはまた、秘儀というか。パラドックスなのですけど。

柳田：なるほど。客観視というか、他人のものにしちやうと叶うと。

石崎：そうなのですよ。自分からも、自分のことすらも客観視すると。

柳田：そのあたりはこのワープの講座でも、という形にはなってくると思うのですけれども。

そして、セッション3では、これも非常に長いものでしたけれど。

石崎：本当にね、そうですね。

柳田：ただ、ここだけはどうしても伝えなければいけないということで、五次元のアクセスの部分と、さらに言うと、アナログとデジタルの融合の部分ですね。

石崎：そうですね。

柳田：デジタルの壁を越えていただくというところ。冊子とセッションを併せて見ていただきました。

石崎：アナログとデジタルの壁も、たぶんもう皆さん越えていただいていると思うのです。いまさら計算を手でやったりしないと思うのですね。そろばんでもなく、やはりコンピューターとか電子計算機でやると。

だから、僕たちには時間がないので、ぜひデジタルを徹底利用されると良いと思いますね。僕もそうしていますし。

柳田：こちらも本当に、去年もそうだったのですけれども、われわれ今回丁寧に伝えたということもありまして、やはり冊子と併せて読まれることで、そうだなということ。

心の部分でのそういった意識の部分というのも、すべて周波数で投影できて。

石崎：そうですね。

柳田：そして、デジタルでもできるんだよというところまで、多くの方にご理解いただきました。

石崎：そうですね。まだちょっとアナログにこだわっている方がいらっしゃるなら、今、手術も本当にすべてコンピューターでやっていますからね。精度のいいロボットが今、手術をやりますから。

腕の良い先生の技術をそのままコンピューターおよびロボットがやれるのでしたら、まったく問題ないと思うのですよね。

柳田：それと、進化を重ねてきたわけですがけれども、大野さんからもセッション 3 に関して、五次元の部分と、そしてデジタルとの融合部分、多くの方にご理解いただきましたけれども、ひと言いただけますか。

大野：今回、アナログの後にデジタルというものをご紹介しましたがけれども、ここで気をつけていただきたいのは、デジタル=五次元と言っているわけではないのですね。

アナログとデジタルを超えたところにある、それが五次元ということでありまして。同時に、この五次元というのは、四次元の世界を成立させている、ある種の間なのですね。

その四次元の世界には、アナログもあればデジタルもあるということなわけですね。

ただし、四次元的にいうのであれば、アナログよりもデジタルのほうがよっぽど速いし正確だということがありまして。

それが、これはある種驚くべきことに、お祓いの祓詞ですら、人間の言葉よりもボーカロイドのデジタルの言葉のほうが、効果もあり、また正確であり、またスピードを自由に変えられるという、そういうメリットがあることがわかっているわけですね。

柳田：なるほど。ありがとうございます。

最後、こちらを見ていただきたいのですけれども。セッション 3 の最後に提言させていただいたのが、「これまでの OS から、五次元対応のこれからの OS に書き換えていきましょう」と。

そうすると、アウトプットも変わっていきますと。

石崎：そうですね。OS が変われば、動く、それこそやり方もすべて。全部アウトプットも変わってきますから。

柳田：ということですね。じゃあ、どうやってやるのかというところなのですかけれども。我々の提言としては、こちら。

「人生、思ったより短い」と。たくさんの仲間がどんどんバスに乗っています。皆さんも一緒に乗りませんかと。

石崎：そうですね。1人でやってもいいのですけれどね、やっぱりみんなで一緒にバスに乗った方が、いろいろな情報交換もできるし、楽しいし。助け合いもできるので、逆に効率がいいかなと思うのですよね。

柳田：本当ですね。ですから、本当にここからはそれぞれの方の判断、決断で決めていただければと思うのですけれども。

これからの時代、このような形で考えています。やっぱり融合、統合して行って、全体の成功と個人の成功が一致したもので。

石崎：そうですね。

柳田：さっき、図にもありましたけれども。そこがやはり私たちが伝えてきたこの「和の成功法則」ということになります。

石崎：そうですね。「和の成功法則」は、何度も言うように、和風のことをやりたいというわけではないので。

なんで「ワープ」という英語を使っているのかとかと言いますけれども、そう

いう意味ではないので。

柳田：統合という。

石崎：統合という意味で「和」ということですので。そこだけ、何度も言うようですけれども、ご理解いただきたいなと思います。

柳田：そして、提言としては、こちら。

大野さんの冊子をお読みいただいた方はわかると思うのですが、個人の成功、個人が例えばステーキ食べたい、ビール飲みたいというのはすごくわかるのですが、全体を俯瞰してみたときに、タイタニック号に例えると沈みかけていると。

石崎：そうですね。

柳田：そうすると、本当にそういう個人の意志を実現したいのであれば、先に船を沈みかけから止めないといけないと。

石崎：そうですね。有限の地球の中でやっぱりやっているわけで。やっぱり個人の幸せとかを追い求め過ぎて、個の欲で結構いっぱいいっぱいになっちゃっていますから。

やっぱりどこかでそこら辺は当然歪みが来ますのでね。もっと公的な視点を多くの人たちが持たれると、またこの地球というか世界は良くなるのじゃないかなと思いますね。

柳田：まさにそれがわかりやすいのが、このタイタニック号、もしみんなが先に浸水を止めたら、じゃあ、公的なビール飲みたい、ワイン飲みたいというのもかなってくるよということですね。

石崎：そうですね。そういうことですよ。

柳田：今回はワインにしましたけれども。

石崎：ねえ。飲みたいですね、ワイン。

柳田：ちょうどボージョレーも解禁になりましたし。

石崎：最近よく飲んでいますね。

柳田：(笑) これ、何でもいいのですけれど、おいしいワインを飲みませんかということですか。

石崎：そうですね。一緒に、ということですね。

柳田：そうですね。大野さんから一言いただけますか？

大野：冊子のほうにタイタニック号というのを、今の地球の環境になぞらえて書きましたけれども、実はもう1個、別の見方があります。

このタイタニック号というのは、地球ということも言えますけれども、今現在、この世の中に形成されている価値観という意味もあるのですね。

今のこの価値観のままで、もちろんこれは資本主義ということもありますし、物とかお金が一番という価値観がありますが、その価値観を持ち続けていた場合に、これ、最終的に自滅といいますか、つぶれるのはわかっているのですよね。

ですから、単に地球を救うということだけでなく、沈みゆく現代のこの価値観という、これを何とか救うというか、乗り越えなきゃいけないということがあります。

ですから、その価値観にはまったとした場合に、例えば今お金をいくら持っていたとしても、あるいは金（きん）をいくら持っていたとしても、いざという場合には紙きれでしかありませんし、あるいはもう一方の例で言えば、単なる重くて光っている物でしかないわけですね。

ですから、そういったものを大事にするという、それは別に現状、必要かもしれませんが、そこだけに焦点を絞るのではなく、そうではない、五次元というお話をしていますけれども、広い価値観の方に意識をスライドしましょうと。

そういう考えというか、教えも含めて、タイタニック号という言い方をしているわけなのですね。

柳田：なるほど。深いですね。

石崎：深いですね。

柳田：ということで、じゃあ、皆さんも、この石崎さん、大野さんをはじめとしたわれわれの提言に対して、「私も一緒にやりたい」と。

石崎：そうですね。昨年度もたくさん、数は言えませんが、ちょっとびっくりするぐらいの方々が集っていただいて、継続してほとんどの方が活躍中だと。

これが一つのやっぱり答えになっているのではないかなと思うのですよね。

柳田：そうですね。そういった方のためにご用意しているのが、この後ご紹介していきますけれども、「和の成功法則 ザ・ワープ」、今年は「インフィニティ」ということでお届けしていきますので。

この後、たっぷりとその詳細についてお届けしていきます。

柳田・石崎：はい。

柳田：ということで、いよいよここからは。

石崎：そうですね。

柳田：「ザ・ワープ ∞ (インフィニティ)」について、たっぷりとお届けしていきます。

石崎：ついにボールが。

柳田：はい。しかし、こんなすごい所にまた来てしまいましたけども。

石崎：いやあ、あ、鳥がとまっていました。

柳田：あの鳥が。

石崎：鳥がやっぱり引き寄せられてきましたね、僕に。

柳田：祝殿から。避難していますね。やはり、でも、こんな灯台の、荒れた海でもこの光があれば。

石崎：はい。道しるべになりますので。今の世の中がこのような嵐のような状態だとすると、やはり、ただ自分も嵐の一員になるのじゃなくて、やはり皆さんを照らせる灯台のようになっていただくといいのではないかと思いますね。

柳田：そうですね。そんな方のためにご用意しているのが、こちらですね、ご覧いただきたいのですけれども。「ザ・ワープ∞ (インフィニティ)」になります。

じゃあ、早速ですね、どういうものかというのをご説明していきますけれども。

こちら、「ザ・ワープ∞ (インフィニティ)」とは、古神道と言霊の秘儀の最後の継承者である七沢賢治先生をはじめ、七沢研究所が全面協力をする日本初の「和の成功法則」を伝授し、継承していく、最新にして最高峰のプログラムになります。

石崎：そうですね。ここでようやく、N研究所というのがなぜNだったかというのがお分かりいただいたのではないかと。七沢賢治先生ならびに七沢研究所のNでございます。

柳田：はい。七沢研究所と七沢先生については、後ほどもう少し詳しくお伝えしますけれども。1回目、2回目、3回目では伏せさせていたのも、やはりここまで熱心にご覧いただいた方にだけお伝えしたかったというのもあるのですね。

石崎：そうですね。

柳田：この研究所が日本の最高峰、世界に誇る言語エネルギー研究機関になるのですけれども、その研究の成果をここまで見せていきたいと。

石崎：そうですね。これ、まだもちろん見せきれていないものもありますし、ちょっと誤解を招くようなことがあってもいけませんので、それは慎重に、見せていいものだけをお見せしているという状況です。もっともっとすごい研究をしていますよね。

柳田：その研究所が、この「ザ・ワープ ∞ (インフィニティ)」には全面協力をしていただいて。

石崎：そうですね。

柳田：そして、最新にして最高峰のものを常に提供していくという方針。

石崎：これは本当にそうなのですよ。本当、私たちを通じて今、学んでいらっしゃる方がかなりの数いらしているのですけれども、常に情報がどんどん来まして、どんどん皆さん進化していっているのです、本当にすごいですね、皆さんの変わり様というのは。

柳田：本当ですね。これは別に、手前みそなのですからけれども、去年やった時も、最初どこまでというのはわからなかったのですけれども、やっていくうちに研究所の先生が、ワープの受講生の皆さん、本当にすばらしい。

ということで、常に最近のものを提供していきましょうということをおっしゃっていただいたということ、大野さんに聞きましたけれども。

そのあたりはどうか。

大野：そうですね。そういう、ようは当初予定していた内容よりも、さらに幅を広げてお伝えするものがたくさんあったかなとは思いました。

それはやはり、前回のワープに参加された皆さま方の強い意志と、本当にやるんだという気持ちが、ちょうどある種スパークしたような感じがありまして。

あまり前々から考えてやるというよりも、これ、神道では中今（なかいま）と言いますけれども、その瞬間、瞬間がやっぱりぶつかり合いというか、スパークですね、非常に大事にするところがありまして。

それがちょうど前回、非常に良い形で噛み合って、より研究所としても、また先生としても、もっと多くを伝えたいという、そういうことになって。

さらにまた、このワープのインフィニティでは、それ以上、またやっていきたいという、そういうことになっているわけなのですよね。

柳田：そうなのですよね。

石崎：はい。本当に皆さん、この秘儀というか叡智というのは、ほんの数年前は公開しちゃいけないものだったので。

ここでこのタイミングでこれを見ていただいているのというのは、まだまだ本当に初期の段階だと思えますから、やはり僕が書いた冊子にもありましたように、運・縁・センスがある方じゃないかなと思っていますね。

柳田：そうですね。先ほどちょっと、最後におっしゃっていましたが、今年はさらにすごいものにするということなので。

石崎：本当にそうですね。

柳田：どうなるか、本当にわかりませんが。

だから、ちょっとここでわれわれがこうやって発表していますけれども、さらに変わっていく可能性がある。

石崎：どんどん最新かつ最良のものですね。最先端のものが提供されてくると。

柳田：そうですね。少なくともさらに良くなるということですね。

石崎：もちろんですね。

柳田：良いものが届けられるという意味なのですからけれども。

石崎：本当に日々、日進月歩、本当に日々進んでいますよね。

柳田：もう少し詳しく言うと、こちら、本当にユダヤ財閥が探し求めるような、古代日本の秘儀を伝授していくと。

さらには、神道、言語エネルギーと、最先端の科学が融合したもの。意識を現次元から五次元にワープさせることで、言霊と一体化して、みんなが持つ真の能力を開花させていくという特徴がある。

石崎：そうですね。

柳田：さらに今回、進化しているのは、まずこちらなのですからけれども、この「和の成功法則」というのを実践していくにあたって、健康というか、体ですね。

石崎：体の在り様ですよ。

柳田：出てきましたけども。少しだけセッション 3 でもお伝えしたように、やはり健全な体から発せられる言霊というのが、五次元にもつながるということで。大野さん、ひと言だけいただきたいのですけれども。

大野：そうですね。前回はどちらかと言いますと考え方というか、理念という部分に焦点を置いてやりましたけれども、それが定着するためには、やはり体感というものが必要なのです。体の受けた感覚という世界ですよ。

3 回目のセッションでもお話ししたかと思いますが、体というのは 1 つであって、嘘をつかないのです。

一方、頭の世界とか精神の世界というのは、複数の自分を出すことが可能になりますし、また、スピリチュアル的な世界ですと、言うなれば「そう思えばそうなる」という、1 つではない世界の中でのいろいろな現実を体験できるわけです。

ですから、体の場合は 1 つしかないということがあるので、体が体得したものというのは忘れません。

例えば自転車に乗って 1 回覚えたら、もうずっと乗れるというのと同じところもあつたりしますので、今回はその部分に踏み込んでやっていきたいなというふうに思っています。

柳田：なるほど。そうすると、そういう手技というか技術というか、そういったところも体得していただくということですかね。

石崎：そうですね。

柳田：すごいワクワクしますけれども。

石崎：そうですね。

柳田：続いて、ワープの使命とビジョンという話なのですからけれども。やはりこちらに賛同いただけるかどうかというのも、非常に大事になってきます。

石崎：そうですね。

柳田：3 つありますけれども、ちょっと全部出しますけれども。

1 つ目が、「私たちは言霊（ことだま・げんれい）の叡智を伝承し、日本人の意識進化に貢献する」と。

これは、自分だけではなくて、周りの人たちの進化に貢献したいというところですね。

石崎：そうですね。何度も言うように、道しるべが今ない時代なので、僕の冊子に書きましたけど、お金が道しるべになっちゃったりしていますよね。

ですけれども、意識的なリーダーになっていただくことで、この人の生き方をすればいいのだと。

この人のように生きると、人生が楽しくなるんだ、本当に生まれてきてよかったんだというふうに、そういう背中を見せていただきたいなと思うのですよね。

柳田：そうですね。

石崎：そこが今一番、この日本および世界にも、一番ない部分だと思うのですね。

柳田：2つ目なのですけれども、自分の使命・天命に沿った真の成功、真の幸せに生きる、現象界と意識界のリーダーであるロゴシストですね、こちらを2020年までに6,000人輩出したいということでやっています。

こちらはロゴシストというちょっと聞き慣れないワードが出てきましたけども。こちら、ちょっと大野さんのほうから解説いただけますか。

大野：これは、ロゴシストというのは「ロゴス」という言葉と「〇〇イスト」という。セラピストとかですね。それを掛け合わせた言葉になっていまして。

今回お話ししております内容の重要なツールと言いますか、部分というのが、言霊（げんれい・ことだま）という世界ですね。

元々このロゴスという言葉は、叡智とか法とか、あと言葉という意味があるのですけれども、言霊の叡智というものをロゴスとした場合に、それを自由自在に扱える人という意味で、〇〇イストを加えたわけですね。

その結果として、ロゴシストという名前が生まれたということがあります。

柳田：石崎さんから、大丈夫ですか？

石崎：そうですね。やはり、本当にリーダーが足りないと思うのですね。

リーダーは政治家であったりとか、例えば企業経営者であったり、地域の世話役の人とか、それぞれリーダーですけれども、一番足りないのは意識リーダー、意識的リーダーですね。

先ほどにもお話があったように、今までのリーダーシップでは、やはり疲弊しているものですから、世界中が。良くなれないと思うので。

例えば、多くの人たちが鳥としたときに、鳥もどこか木であったりとか、何か

道しるべがないと、とまりようがないのですね。

そういった存在になっていただけると、いいんじゃないかと思います。

そういう存在になると、変な話、成功はもれなく、僕はついてくると思いますね。

柳田：なるほど。これ、注意していただきたいのが、現世界というか、現象界と意識界、両方のリーダーということで。

石崎：そうですね。

柳田：そのための活躍の舞台というのを、ちょっとこの後ご説明しますけれども、ご用意しています。

そして3つ目。こちらが、言霊の叡智により、真の成功ボディとマインドを手に入れていただいて、その中核となる教えを多くの人に伝えていく。そんな人たちになっていただきたいと思っています。

最終的に目指すビジョンというのが、こちら。

多くの日本人、日本語族が、世界の主役たる存在であることに目覚めていただいて、そして世界の発展に貢献する起点となっていくと。それがザ・ワープの目指すビジョンということですね。

石崎：そうですね。

柳田：ここからは、「ザ・ワープ インフィニティ」の特徴について、見ていきたいのですけれども。

心機一転、さっきの海から上がってきましたね。

石崎：ワープの世界に画像が変わりましたね。

柳田：あの鳥さんはどこに行きましたか。

石崎：あれ？ 消えましたね。どこに行ったんだろう。あ！ 大野さんが保護していましたね。

柳田：保護していました（笑）。大野さん、じゃあ、よろしくお願いします。

大野：よろしくお願いします。

柳田：ということで、「ザ・ワープ インフィニティ」なのですけれども、まず1つ目の特徴を、こちら、ご覧いただきたいと思います。

先ほども言いましたけれども、世界最先端の言語エネルギー研究所である七沢研究所、そして七沢賢治先生が全面協力していただいて、古代から封印された叡智と、最先端の成果、情報を惜しげもなく公開していくと。

石崎：そうですね。本当に、惜しげもないと言っても過言じゃないですよ。

柳田：本当に最先端というのは、1期するときも先生が最先端を教えなさいということで、大野さんが「これ本当に教えていいのですか？」と。

石崎：そうですね。大野さんのみならず、研究所に関わっている方々が、「これはここのレベルまで来て初めて教えていただけることなのに」みたいなこと、言っていましたよね。

それがどんどん出てくるという。すごいことになっていますよね。

柳田：それが今回、さらにその方針が強化されているということなので、本当に楽しみにしていきたいなと思うのですけれども。

ちょっと七沢研究所さんについて、こちら、スライドをご覧いただきたいのですけれども。大野さんの方から、簡単な解説をいただいてもよろしいでしょうか。

大野：研究というのは何を研究しているかと言いますと、もちろんここで書いているように、言語エネルギーとかシステムの研究ということもあるのですが、

簡単に言うと、今回の「和の成功法則」という言葉があるように、世界中の叡智というか、良いものを集めるという。

集めて分析して、統合して、皆さまに使えるようにするという、そういう研究をしているわけなのですね。

ですから、どうしても成功法則という現実的なことというか、そこばかり見ているのじゃないかと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、いわゆるスピリチュアルという分野についても、ありとあらゆるものを見てきました。

だいたい研究所に集まってくるメンバー自体が、そういったことをやり尽くした人が入ってきているということもあって、そういった過去の経験をもとにしながら、現状、または古代の叡智というものを、いろいろ日本、また世界から集めてきて、それを統合、さらにソフト化するというところまでやっているという、そういうことですね。

柳田：ありがとうございます。その中で、大野さんは統轄役員というか、ナンバー2 であられるわけですが。

石崎：そうですね。ちょっと、こちらのワークを皆さんにお送りするときに、今までそういった、本とかも全部捨ててくださいと言いましたけれど、

一つの理由が、研究所の方にほとんどの情報がもう集約されていまして、統合されているので、学んだことに関しましてはここに集約されているので、そういう意味でも、もう必要ないんじゃないですか、という言い方をさせていただきました。

柳田：はい。本当にすごい研究をされているのですけれども、そのトップというか、リーダーであられる七沢賢治先生については、次のスライドに簡単なプロフィールというのをご用意させていただいているのですけれども。

これはセッション 2 でお伝えした、言霊学（げんれいがく）という図がありましたけれども、その最後の継承者ということになりますね、七沢先生が。

大野さんのほうからも、ちょっと先生についてご紹介いただけますでしょうか。

大野：なかなかこの小さな鳥を持って（笑）簡単に申し上げにくいところもあるのですけれども。

プロフィール的にはこちらに出ているとおりに思いますけれども、簡単にというか、やはりこの言霊学という分野とか、また、神道でも、宮中にずっと伝わってきた白川神道という教えがありますけれども、伯家神道とも言いますが、これの正式な継承者で当然あられて、それに加えて最先端の科学ですね。

これは量子力学ですとか、いろいろな分野がありますけれども、それを取り入れて、独自に開発されている。

そういうところもあって、正直ひと言でこうだというのはなかなか申し上げにくい部分はあるのですけれども、非常に幅の広さ、また奥の深さというのがなかなか。

私が言うのもあれですけれども、まずいないんじゃないかなという、そういう素晴らしい方だと思いますね。

柳田：ありがとうございます。本当に、普通はなかなかお会いすることができない。

石崎：そうですね。本当に、武術で言うと達人の域というか、人間で言っても最高峰の意識を持った方なんじゃないかなと、僕らも思いますよね。

柳田：そんな七沢先生、そして研究所が全面協力をしているのが、一つの本当に大きな特徴になります。

それでは、特徴の2つ目なのですけれども。これ、なんか……。

石崎：ん？音がしましたね。

柳田：もぞもぞしていますけれども。こんなところに……。

石崎：鳥が入りこんじゃいましたか。知らぬ間に。

柳田：大野さんの所から飛んできていました。

石崎：なるほど。

柳田：さすが五次元ですね。

石崎：ですね。知らぬ間にとのことですね。

柳田：はい。ということで、特徴 2 は、五次元からの言霊で現実を創造する、アナログとデジタルの最高峰のメソッドを伝授ということになります。

こちらは大野さんのほうから、簡単にご紹介いただけますでしょうか。

大野：そうですね。「五次元からの」という意味においては、なかなか皆さん初めて聞くような内容だったかと思うのですけれども。

実際、四次元で私たちがこういう言葉を使ってその言葉が存在するように、五次元にも同様にそういった言葉があるのですね。

今はまだわかりにくいかもしれませんが、五次元から四次元に引き出すための、アナログでいえば作法、またデジタルでいえば、そういうシステム的な方法があるわけなのですよね。

ですから、それを今回お伝えしたいというわけなのです。

柳田：つまり、両方ですね、学んでいただくということになります。

石崎：そうですね。

柳田：そして 3 つ目ですけれども。これも非常に特徴的なのですけれども、誰かの成功ではなくて、自分にとって最適な、副作用のない成功を手に入れる。

石崎：そうですね。

柳田：こちら、石崎さん。

石崎：そうですね。本当に、在り方がなかなかしっかきできていないので、この時代は。なかなか在り方まで定まっている方が、僕も以前そうだったですけども。

なので、やり方ばかり追いかけるのですね。やり方というのは何かというと、成功者の真似ということですね。結構派手に動いている人とか。

柳田：メンターであるとか。

石崎：メンターですね。セミナーも、これも一つかもしれませんが、何か教えている人であったりですとか、何か本を書いている人。そういう人たちのやり方を追い求めます。

でも、それ、あなたの成功ですか？ ということなのですね。在り方を定めないと、追いかけるのが自分の本来の成功ではなくなってしまうと僕は思います。

自分に最適な成功をすれば、人は人、自分は自分と、良い意味でそういうふうにしっかきと腑に落ちますから。そこをやるとすごく楽になると、僕は思いませんね。

柳田：そういった成功、自分らしい成功を手にするようになる。

石崎：はい。だからこそ、副作用がないわけですよね。本来はそう生きてはいけない生き方をしてしまったとかすると、やはり副作用が出てくるのですね。

その人なりのやはりちゃんとした、設計された人生をしっかきやっていたら、副作用は当然出にくいということですね。

柳田：なるほど。そしてこちら。

五次元から健全な言葉を発する土台となる身体の健全化、最適化ができる秘儀を伝授するという、こちら、大野さんの方からお願いします。

大野：この私たちが生きている次元というのは、これは単純な話、肉体があって初めて成立する次元でもあるわけですよね。

ですから、この肉体というものを通してでしか、この五次元の言葉というのは発動のしようがないということがあるわけですね。

ですから、この肉体、身体を健全にするというのは、これは意外とこういった世界では見落とされがちなのですけれども、きわめて当然のことでありまして。

なかなかこれまでの健康法とかそういったものが、こういった五次元と結びつけられることはありませんでしたけれども、それにつながる開発といいますか、そういったものをお伝えしたいと思っています。

あともう 1 個、これはまた別の単純なお話をしますと、例えばどんなに成功しても、仮にお金が 100 億円とかあったとしても、もし自分が寝たきりだとすると、どうかという問題がありますね。

やはり体があって、動けて、また、そういった教えとかコミュニケーションができて、非常に生きがいというものは作られていきます。

やはり体を大事にし、また、その体と五次元をつなげるということを、この講座でお伝えできればというふうに思っております。

柳田：なるほど。そして、特徴の 5 つ目なのですけれども。これも我々の大きな特徴というか。

経営者・ビジネスパーソンから、カウンセラー・整体師・主婦の方まで、これは別に職業は何でもいいのですけれども。

石崎：何でもいいですね。

柳田：どんな方でも気楽に参加いただける環境になっています。

石崎：それぞれ追いかけているテーマというのがありますし、やらないといけないテーマというのはあると思うので、主婦は主婦の方のやはり成功のテーマがあると思いますね。

経営者は経営者で、当然ビジネスという、そういった場がありますしね。カウンセラーはカウンセラーで人を整えるというお仕事の間があるあると思うので、

全てに活かせると思いますね。

柳田：ワープ、1期もそうだったのですけれども、本当に皆さん楽しく。

石崎：そうですね。

柳田：いろいろな職業の方が来ていますし。

石崎：本当に有名な方から、普通の主婦の方からいらっしやっていますよね。

柳田：気おくれして参加できないとか、そういったことは全くありませんので、ぜひですね。

石崎：そうですね。

柳田：そして特徴の6番目なんですけれども、全体の成功と個人の成功が一致した新しい時代の成功を自らがまず体現すると。そういった個人を輩出していきたいということなのですけれども。こちら大野さんのほうからお願いいたします。

大野：これは前からお話しておりますように、これからの成功というのは個人だけというわけにはいなくなるわけです。

やはり全体の成功があって、全体というか自分以外の環境があって、それがうまくいって自分が存在して、うまくいってという、そういったものが一致して初めて成功と言えるという時代が来るという。

もともと本来そうなんですけれども、より顕著にそういった傾向になってくるのではないかというふうに思っておりますので。そういうことを言っているわけです。

柳田：そして特徴の7番目なんですけれども、こちら。日本そして世界の人々の意識進化に貢献すると。そのリーダーを輩出していこうというプログラムになっています。こちら、石崎さん。

石崎：そうですね。もうさっきも言いましたように、意識的リーダーというの

が本当に必要とされていると思うのですね。リーダーという一つの概念で言いますと、リーダーというのは価値を提供できる人だと思うのです。価値を提供して周りにいい影響を与えられる人ですね。

いろいろなこういう稼ぎ方がありますよとか、こういう方法がありますよとか、そういった方々もある意味、リーダーではありますけれども、根本的な在り方をしっかり整えてくれるリーダーというのは、まだまだ不足していると思いますので、そういった方々を輩出したいなと思っております。

柳田：特に実業をやっている方もどんどん、そういうふうな意識を変えていただいて、リーダーになっていただきたいなと。

石崎：そうですね。

柳田：そして 8 番目なんですけれども、こちら。卒業後は国際ロゴシスト協会の一員として、講師であったり、あるいは事業家として、リアルに人々の意識進化に貢献できる環境が用意されています。

石崎：そうですね。

柳田：これはお二人から一言ずつ頂きたいんですけども、本当にこういうちゃんと環境も用意していますよということですね。

石崎：そうですね。僕のほうからお伝えすると、まず一つは、僕や大野さんが年に一回程度こういった形でやるのにやはり限界がありますので、

これを学んでいただいた方が、自分の地域・フィールドで、たとえ少人数でもいいので勉強会を開いていただいたりですとか、研究会を開いていただいたりとかすると、どんどん輪が広がっていくということでの講師としての動きができますね。

あと、どうしてもこの時代、ビジネスと結びついたほうがよりわかりやすいというのがありますから、われわれの所にいろいろないい情報が集まってきますので、そういったものをどんどん事業化していくというプランがありまして。

柳田：これは言霊の叡智もうまく活かしたものですね。

石崎：そうですね。全くわれわれがやっていることと違う事業をやるということではなくて、こういった言霊の叡智をきちっと応用できるビジネスをどんどんと作っていくというプランがあります。

柳田：こちら、大野さんからもお願いします。

大野：ちょうど近々、この国際ロゴシスト協会のほうから、実際に講師をやっていただけの方が、いわゆるマスターとして出てくる予定になっていまして。

ちょうど近々、そのためのまた特別セミナーもあったり、また誰でもなれるわけではないので、そのためのテストというか確認等をちょうどこれからすぐやる所にあります。

ただ言えることは、この活動というものがイベント的に一過性のものではなくて、これから長い歴史というか時期の中で、むしろこれからどんどん養成していきたいというものであり、またそうした方々をサポートしていきたいという、そういう気持ちでいることでもあります。

逆に、今回の学びを今回だけというのではなく、むしろ自分の一生、また子孫とか人々に伝えられるものとして捉えていただいたほうが、非常にうれしく思う次第です。

柳田：なるほど。ありがとうございます。

こちら国際ロゴシスト協会というのは、石崎さん、大野さん、そして私もなんですけれども理事にならせていただいている、七沢先生も名誉顧問というかたちで就任していただいていますけれども。本当に実際に、一般社団法人として活動しているというかたちになりますので、皆さん活躍できる環境が非常に用意されていると。

石崎：そうですね。けっこう僕らも時間を費やししながら、今、大切な時期なので、丁寧にやっているのではないかと自負はしているところはあります。

柳田：以上が八つの特長になります。ここからはザ・ワープ インフィニティ、6カ月のプログラムになっているのですけれども、その具体的な中身を見ていき

たいと思います。

柳田：それでは本当にお待たせしました。和の成功法則-ザ・ワープ インフィニティの 6 カ月のプログラムについて、ここからお伝えしていきたいと思えます。石崎さん、この背景は？

石崎：これは第 1 期の皆さまの講義風景です。

柳田：そうですね、本当に。石崎さんもいますけれども。

石崎：遠い所にいますね。もうちょっとずいぶん前のことのように思います。

柳田：本当にたくさんの方に来ていただいて、毎月、熱いセッションが行われましたけれども。

石崎：本当に、こういうセミナーというのは少しずつ減っていくではないですか、参加者が。全く減らなかったというね。すごかったですよね。

柳田：本当にばんばんでしたけれども。ぴーちゃんはどちらですか、これは。

石崎：ぴーちゃんですか？

柳田：過去のセミナーに参加していたのか、今いるのか。

石崎：あら。来たのではないですか。やはり興味があるのでしょうか。(笑)意識進化したいそうですよ。

柳田：そうですね。ということで本当に今回 6 カ月、1 回目より、前回よりもものすごい進化しています。

石崎：すごいですよね、これもいきなり。

柳田：ちょっとこれ、全貌をご紹介したいんですけれども。こちらをご覧ください。

ご覧のように第 1 回が開闢(かいびやく)編。ちょっと後ほど聞いてみたいのですけれども。第 2 回が講究(こうきゅう)編。第 3 回が達眼(たつがん)編。そして 4、5、6 がシークレットと。

石崎：シークレットツアーのようでいいですね。ミステリーツアーのようで。

柳田：これ前回は、昨年は 4 回目、5 回目、6 回目もあったのですけれども、今回は先ほどから申し上げているように本当に変えていく、中今(なかいま)というか、その時点での最高のものを伝えていくということで。

石崎：そうですね。

柳田：決めているのは 3 回目まで。

石崎：これは研究所のほうで本当の奥義というか、本当の本物を出していくということが決まっています。

ですので、今ちょっとシークレットとしか言いようがないのです。これは本当にすごい講義になると思いますので。ミステリーツアーって旅行でもあると思うのですけれども、すごいことになると思います。

柳田：こちら、後ほど詳しいスケジュールは説明しますが、来年の 2016 年の 1 月から毎月の開催になっています。2016 年の 6 月まで開催になるのですけれども、申し訳ないというか、地方の方もあれなんですけれども、東京での毎回の開催になります。

石崎：そうですね。どうしてもこういうものは東京にならざるを得ない部分もありまして、ご容赦いただければと思います。

柳田：ただ、後ほど紹介いたしますけれども、海外の方ですとか遠方の方も参加できる仕組みというのはご用意しています。それでは、ちょっと聞きなれない言葉なのですけれども。

石崎：ここだけ和ですね。和風です。

柳田：開闢(かいびやく)編ということなんですけれども。開闢(かいびやく)です
ね、どういう？

石崎：開闢(かいびやく)という言葉、普通のこと、あまり使わないというか知
らない方も多いと思うのですけれども。

ここで言う開闢とは言霊の叡智ですね。和の成功法則の叡智は開かれるという
意味で、開闢という言葉を使わせていただいています。

柳田：なるほど。そんな 1 回目の開闢(かいびやく)編なのですけれども、現時
点での決まっていることなののですけれども、まずは石崎さんのほうからになり
ますね。ちょっと出させていただけますけれども。こちら。ちょっと簡単な、
お願いします。

石崎：そうですね。まず、こちら学んでいただいて、皆さんがタミ、カミ。神
様の神というわけでなしに、カタカナでカミと書いてありますけれども。

皆さんがそうなるという目的地ですね。これをちょっと指し示したいと思い
ます。どういう状態になるのかということです。

次にやはり、これを受けに来ていただいている皆さんというのは運・縁・セン
スと。と同時に人生の転機なわけですね、転機につながっていると思うので、
こちらのほうのメカニズムというかお話もしたいと思います。

次、人生の取説。取説と書くと非常に軽いようなイメージがありますけれども、
ここはけっこうしっかりとした講義になっていまして。

人生をどう取り扱ったらいいのかと、適切にどう取り扱ったらベストな人生を
送れるのかというところをしっかりと僕の経験を踏まえて、体系立ててお伝えさ
せていただければと思っております。

次ですね。従来の成功法則と日本人に合った成功法則。

こちらの動画でもある程度、お話はしておりますけれども、より深くお話をさ
せていただきまして、核心ですね。日本人に合った成功をしないとイケないと、
日本語族に合った成功をしないとイケないということが、わかっているだけ

のではないかなと思います。

最後。初回から僕の体験、一部冊子にも書いたりしましたが、もう少し生々しいお話であったりですか、実際にワークショップ 1 期で学ばれた方、何人かお呼びして生の声をお届けできればと思います。

1 回目でちょっとそれを先にお見せしたいなと思います。後からもったいぶって出すのではなくて、最初からこういうふうになれるんだと、こういうふうに皆さん感じているんだと、1 期の方も含めて。そこをお見せできればなと思います。

柳田：ありがとうございます。これは一日セミナーになるんですけども、一日の講座ですね。約半々で石崎さん、大野さんそれぞれにお話をいただくようなのが基本的な形にはなります。

石崎：実は第 1 期のときは、これだけで丸一日だったんですよ。

柳田：そうですね。本当に凝縮をして、ガチっとお伝えしていくというかたちになります。

石崎：本当に前回 6 回でやったことを 3 回でやると決めまして、

あと 3 回をその代わりミステリーというか、すごいものを用意していますので 2 倍お得かもしれないです。1 期よりはですね。

柳田：そうですね。石崎さんのほうは、特にとというか主に現象界というか、こちら含めた、この五次元の学びをどう四次元に活かしていくか。そういったところを含めて、リアルなものをお伝えしていただきたいなと思っています。

石崎：そうですね。

柳田：そして、こちら次が大野さんになりますけれども、大野さんもいくつか挙げていただいております。大野さんのほうから簡単なご説明をお願いいたします。

大野：はい。今、石崎さんからお話ありましたように、今回は前回の内容をそれこそ倍に圧縮してプログラムを作りましたので、今ここに書いてある内容も

一日がかりというものだったわけです。それを半日でやるという感じになるのですけれども。

といった重要なポイントは必ずお伝えしますし、また第1回目の講義の中身の部分で、多分、相当数の方に変化が起きるのではないかと思うのです。

特にこの中に書いてある祓いの言霊というものがありますけれども、今、実際には祓いと簡単に言っても、本当に祓いをおこせる言葉というのは非常に少ないというか、本来的なものではないものがむしろ残ってしまっていて、本当に力を持つ言葉というのは隠されているとか、消えているという状態にあるわけなのですけれども。

この祓いを誰でも体験できるように、またそこから体感が生まれるようなものを、この第1回目の講義の中に組み込んでおります。

柳田：ありがとうございます。先ほど、石崎さんから大野さんもありましたけれども、これ挙げてはいますけれども、もしかしたらもっと変わっていく可能性もあるので。

石崎：そうですね。

柳田：本当にその部分だけのご理解いただきたいと思うのですけれども。

もちろん、こうしてご参加いただく方は、リアルに石崎さん、そして大野さんに会うことができます。大野さんの顔も見ることができるということでよろしいでしょうか？

実は余談ですけれども、大野さん、メガネをかけていまして、回を重ねるごとに、前は度が、度というか色が付いているのですけれども。

石崎：そうですね、濃度がですね。

柳田：濃度が薄くなって行って、だんだん本当の素顔が見えたというふうなことがありましたけれども。今年はどうにお考えですか？(笑)

大野：ちょっと前回使ったネタを繰り返すのはどうかなと思ってはおるのです

けれども。ただ、もともと色の入ったメガネを普段使っていますので、あまりちょっとどうなるか想像つかないですね。

柳田：それは本番のお楽しみということでやればなと思います。

大野：そうですね。

柳田：ありがとうございます。そして2カ月目なんですけれども、こちら講究（こうきゅう）編となりますけれども、こちらの言葉の意味はどうでしょう？

石崎：字で読んでいただくとおりなのですけれども、ようは追求していくという、習得して追求していくと、自分の在り様であったり、この世の仕組みであったりとか、そういったことをやっていきたいなと思っております。

柳田：まず大野さんからになりますけれども、こちらですね。いくつかキーワード挙げていますけれども、簡単にご説明いただけますでしょうか？

大野：簡単に言いますと、今回は在り方というお話をしているわけなんですけれども。では、人間の存在ということは一体どういうものなのかということを解説します。

実際には五階層ということで、通常肉体の自分、また感情とかいろいろあると思いますけれども。

これは非常に、実は明確に五階層で分かれているわけなのです。ですからスピリチュアルの世界でも宗教の世界でも、また心理学的な世界でも、この階層のどこの話をしているかというのは全部決まっています。

ですけれども、そうではなくて実際には全体像として、五階層という統合体でできているという、これもかなりかつては秘伝とされた部分なのですが、そこのお話をいたしまして。

今回もこちらでは、研究所の優秀な研究員も招いて、実際に五次元に抜ける文章の作り方等についても、お話をさせていただければと思っております。

柳田：こちら講師の森田雄一朗さんなんですけれども、この後、ちょっとご登

場いただきたいと思っています。

石崎：そうですね。

柳田：そして石崎さんのパートなんですけれども。

石崎：そうですね。僕のほうは現実界で使えるということで、自分の使命をベースにしたほうが成功しますので、その見分け方というか導き方ですとか。

あと、やはり傷ついたりゴミがたまっていますので、そういうものを祓っていく方法。

こちらも言霊のほうで全然、祓えますけれども、心理学を使うと割と即効的に祓えたりする方法もありますので。必要なものだけ、しっかりと教えさせていただきたいなと思っています。

あと、その根拠ですね。こういう勉強するにあたって、やはり根拠のないものをしてもしようがないので、この辺もお伝えしていければと思います。

あと皆さんが興味のあるお金ですね。お金というのは一体何ぞやということ。

僕もこれをすごく追求してわからなかったのです。だから、たくさん儲けたらいいとか、人より稼げばいいとかという発想になったのですけれども、僕はお金の正体がわかりましたので、それを皆さんにお伝えできると思います。

柳田：ありがとうございます。そして3カ月目なんですけれども、こちら達眼（たつがん）ということなんですけれども。

石崎：達眼というのは達する目と書きますよね。ですから悟るとか、わかったと。この世の仕組みはわかった、わかった上で前進していこうと。本来の自分自身の人生をやっ払いこうという意味での状態にやっとなれたという意味で、達眼というような名前を付けさせていただきます。

柳田：つまり、半分の時点で達眼していただくと。

石崎：そうですね。なるほどと、こうなっているのだと。自分はこうしたらいい

いのだというところから、初めて在り方も出てくるし、やり方もその上で効果が出てくると思います。

柳田：こちら、石崎さんに挙げていただいているものですね。

石崎：これは達眼、ようは実際に使えないといけないので、願望実現を量子的な見地でやっていくことをお伝えしたりですとか。

あとはやはり僕はビジネスをずっとやってきて、約20年生き残っておりますし、僕より当然成功されている方はいらっしゃると思いますが、自分なりにはまあまあいい状態でやれていますので、

そういったビジネスの見極め方、取り組み方ですとか、そういったものをぜひお伝えしたいと思います。

ビジネスの興味ある方は応用していただける部分もあると思いますし、ない方はない方で、なるほどなというふうに思っただけのものではないかなと思います。

柳田：皆さん、でもありますよね。

石崎：そうですね。この世である程度のことをやるには、どうしてもビジネスは稼ぐという行為は付いてまわりますから、スピリチュアルだけで上からお金が降ってくれば必要ないとは思いますが、そうはいかないので。

あまり僕も言いませんけれども、これは一つちょっと講義に入れたいなと思っています。

あと自防論ですね。国防論とかそういうのはあります、国を守る。自分を守っていかないといけないです。いろんなことで今、僕たちは情報洪水になったりですとか、人の波動を受けたりですとか、エネルギーを受けたりとか、いろいろなことがあるので、自分を守るという理論というか概念をお伝えしたいなと思っています。

柳田：ありがとうございます。続いて3カ月目の大野さんですけれども。こちら。

大野：まず1カ月目、2カ月目で自分という存在を明らかにして、その存在におけるゴミを祓って空（くう）になるということをするわけです。空になるということは、ようは五次元に入るという意味があるのですけれども。

いよいよこの第3回目では、祓われた状態、空の状態から、言霊を実際に出すということを行うわけです。

これはアナログでもどうするかということをお伝えしますし、また実際にデジタルでどういうふうなことをするのか、どういう体感が得られるのか、そういったことも取り入れて、主に言霊中心の講義を作っていきたいと思っております。

柳田：ありがとうございます。こちら、本当にちょっと簡単というか、箇条書きでという形の説明になるので、まだわからない部分もあると思うんですけれども。

前回は例にとると、本当に皆さん、毎回すばらしい感想を頂いています。

このバランスというか、石崎さんと大野さんのバランス、実によくできていて、いろいろなタイプの方もいらっしゃいますし、その中でも意識的なことを探求したい部分もあれば、

やはり現世利益というか、そういう部分もありますので、非常にバランスが取れているというのが特徴にはなっています。さらに言うと、前回の6カ月のものを3カ月でお伝えすると。

石崎：そうですね。これけっこう講師側は大変ですよ。もともと6カ月でやろうとしていることを3カ月にしますので、その分、1期より1時間延びているのです、講義時間が。

より濃縮しますので、われわれの講義の中でも、もう大事なところだけを圧縮して3カ月でやりきってしまうと思っております。本来6カ月かかる講義であるということだけ、お分かりいただければなと思います。

柳田：また、これも展開次第ですけれども、もしどうしても伝えたいこととか、

そういったことがあれば、別撮りとかそういったかたちでも、皆さんにお届けできますので、その辺りはご安心いただきたいなと思います。

そして4回目から6回目は、こちらですね、シークレットと。いまだ公開していない研究所の最先端の叡智を公開します。

石崎：これはすごいですね。これ、柳田さん、どうなんです？ こういうセミナーとかでシークレットとか普通ないのではないですか？ 一応、ちゃんとどういうことをやるかと言いませんか？

柳田：そうですね、言います。ないわけではなくて、あるのですけれども。本当に公開していない研究所の最先端のものをお届けするということだけは、お伝えさせていただいて。

石崎：これはある意味、楽しみにしていただけだと思います。こういうことをやるんだではなく、何だこれはという講義が待っているのではないかなと思います。

柳田：こちら、大野さんからも一言いただいてもよろしいですか？

大野：そうですね。ちょうど今、石崎さんのほうで代弁していただいたわけなんですけれども。

結局、時代というものが全く変わってきているわけです。去年、感じる時間的な感覚と、また今年というのは当然違うわけですし。どんどんスピードが速くなっているわけです。

一説には、この一年間で70倍変わったとか、180倍変わったという言い方もあるのですけれども。

実際、コンピューターの進化と同じように、スピードが速まっていることは事実でして。従って、現段階で内容を決めてしまったら、そのときの一番最先端のいい情報というものを、皆さんにご提供できないのではないかということ考えたわけです。

ですから、通常の商品主義的に考えるのであれば、同じ事を繰り返して、肉付

けするくらいがいいのだとは思いますが、そういう発想では、そもそもやってはいません。またそうではないという姿勢が、ある種、これからの時代に必要なものではないかというふうに思っているわけなのです。

柳田：なるほど。ありがとうございます。

本当に多くの方にご理解いただけるのではないかなと思います。逆にわくわくします。ということで6回の、ざっくりしたものではありますが概要をお伝えしました。

そしてここからは、いくつかお楽しみというか、さっきちょっと出てきましたけれども。2カ月目でご登場いただく、研究所の연구원のお一人でもあります、そしてザ・ワープの講師でもあるのですけれども、前回も非常に献身的なサポートと。

石崎：そうですね。今もご活躍いただいていますサポートも。

柳田：本当にご活躍いただいています、非常に皆さんから信頼も厚い方が、先ほども出ましたけれども、森田雄一朗さんということで。今日、五次元から飛んでくるということなので、早速ご登場いただきたいと思います。

石崎：いつの間に。

柳田：来ましたね、五次元からの使者。

森田：こんにちは。森田雄一朗です。

柳田：こちら七沢研究所の연구원でもあり、ザ・ワープ インフィニティのスペシャルというか、サポート講師でもある森田雄一朗さんです。よろしくお願ひします。

森田：よろしくお願ひします。ピヨちゃんも五次元から抜ける構文を聞きに来ているようですね。

石崎：鳥でも学ぶというのはすごいですね。

柳田：すごいですね。ちょっと2回目だと出ていましたけれども。森田さん、本当に五次元に抜ける構文というか五階層の構文と呼んでいますけれども、そのスペシャリストで、昨年も1期性に本当に素晴らしい指導をしていただいて。

石崎：きめ細かい手厚いサービスというかフォローをされていました。

柳田：本当に女性にだけ優しかったです。そんなことはないですね。(笑)

森田：そんなことは。平等に私は接しています。

柳田：しかし本当に。住いはどこですか？五次元ですか？

森田：そうですね。今日も川崎のほうから電車でやって来ました。

柳田：ものすごい背が高いんですけれども。

森田：約2m20cmぐらいありまして。

石崎：すごいですね。五次元での平均身長だと聞いていますけれども。

森田：そうですね。全くそのとおりです。(笑)

柳田：すごい経歴を経て、研究所で働かれているということなのですからけれども。大野さんからご紹介いただけますか。

大野：今の研究所では、こちらに書いてありますように、新しい装置の開発ですとか、またそれに見合う言語エネルギーの開発といったものに従事してもらっていて。

非常に成果もだんだん当然出てきていますし。これから本当にこのワープを通して、もちろんロゴシスト協会というものもあるのですが、そういった活動の中で、中核的な役割を果たすであろうと期待する人物でもありますので、皆さま、どうぞよろしく申し上げます。

柳田：どうですか？

森田：そうですね。本当に去年もワープの講座に出させていただきまして、熱心に皆さんやっており、私自身も一緒に成長できて素晴らしい体験をさせていただきました。

柳田：ちょっとふざけ気味にお伝えしましたがけれども、森田さん、本当に五階層の構文というか、アナログ部分も含めてプロフェッショナルですので、ぜひ参加される方は楽しみにしていただきたいなと思います。

石崎：そうですね。

森田：本当に五次元からの、いかに、どこの在り方から言葉、言語を発するかで全然、本当にもう結果が変わってきますので。

皆さんと一緒に、これを実生活、自分の人生に変えていくような言霊の作り方を一緒に探求していきたいと思います。

柳田：ありがとうございます。ということで本当に、ワープでの先の、先ほど大野さんもおっしゃいましたが、協会のほうでも非常に献身的にサポートをしてくださっていますので、皆さんも、すごい背が高いですから会うのを楽しみにしていただきたいです。

石崎：そうですね。森田さんより背が高いという人もぜひ来てください。僕も見たいです。

柳田：こう見えてAKBが好きだったりしますものね。

石崎：お茶目ですから、森田さん。

森田：一緒にライブ行きましょう。(笑)

柳田：そうですね。では、また五次元に戻られますか？

森田：それでは失礼します。

柳田：そしてもうひとかた、今回はスペシャルゲスト。

石崎：有名なですね。

柳田：ベストセラー作家の、こちら。ひすいこたろうさんになります。実はひすいこたろうさんは研究所、いろいろな本を出されていますけれども。実は研究所とか七沢先生の本も取材されたこともある。

石崎：ご縁があるわけですね。

柳田：ご縁もあったということで。言霊に関する本ですとか、いろいろ出しているのですけれども、そういったご縁もありまして。

私も一緒にちょっと本を出している友人でもあるのですけれども。ということで、ぜひ。なんとひすいさんも言語周波数の実験の装置も持っている、すごいです。

石崎：そうですね。もうみんな周りの方が気づくと、皆さん、何か iPhone のように所持していますからね。大変な時代になってきました。

柳田：そうですね。ということで研究所、もちろん他にもたくさん、名前は出せないんですけれども、いろいろな方がいらっしゃるのですけれども。

今回、現時点で決まっているのはひすいさんということで、4 回目に講義に来ていただく予定になっています。

石崎：そうですね。こういう勉強会というかセミナーもエンターテインメントではないと、真面目だけでは僕おもしろくないと思うので、ひすいさんが来ていただけるというのは有意義ですよ、楽しいでしょうし。

柳田：ということで、ぜひ楽しみにしていただきたいと思います。

そして続いていきたいんですけれども、こちらが日程となります。

来年 2016 年の 1 月 23 日が 1 回目になりまして、だいたい 1 カ月に一度刻みで 6

月 26 日。2 月 7 日、6 月 26 日というのが日曜日になりますけれども。これもちょっとご注意をいただいて。4 回目、5 回目、6 回目はシークレットという内容になります。

石崎：そうですね。1 回目と 2 回目が、ちょっとタームが割りと早いんですけれどもね。ちょっと早くとんとんに行きたいということもありまして、こういう日程になっております。

柳田：そして、時間は 10 時スタートは変わらないと思うんですけれども、終わり時間はだいたい 19 時ぐらいというふうに見ていただければ。

石崎：そうですね。1 期よりもちょっと 1 時間ほど伸びておりますから、その分、休憩を長く取ると、途中で、という話もありますよね。

柳田：もちろんお昼の時間もありまして、お弁当は非常においしいものをご用意しております。

そして、懇親会というものを毎回行っていて、30 分後ぐらいですね。19 時半をだいたい予定していますけれども、2 時間ぐらい開催予定になります。ここでは本当にざっくばらんに。

石崎：お酒も入りますからね。ざっくばらんに先生、生徒とかそういうものではなくて、もともと生徒さんとかたちで来ていただくわけではなくて、一緒に研究生だということなので、和気あいあいといけるといいかなと思います。

柳田：本当にここでのワインはおいしいです。

石崎：本当においしいです。けっこう僕ら食べる暇がないというか、どうでもいいんですけれども。皆さん、食べてくださいね。

柳田：ここでは大野さんの飲む姿も見られるのではないかなと。

石崎：そうですね。実は大野さん、酒豪ですから。(笑)

柳田：大野さん、どうですか？

大野：いえいえ。楽しく飲むことは心がけておりますので。

柳田：そうですね。そんな別の一面も。

石崎：ありますから。

柳田：続いてなんですけれども。

受講スタイルということで、こちら。期間はこういったかたちで2016年1月から6月になりますけれども。実は二つのコースをご用意しています。

一つは先ほどの会場でリアルに受けていただく。その名も「リアル ワークコース」ということです。こちらは、当然、会場の都合もありますので人数が限定というかたちです。

石崎：そうですね。これが去年もすぐ埋まりましたので。また、それだけちょっと頭に置いていただけるといいかなと思います。

柳田：ちょっと後ほど紹介しますけれども、本当にあっという間に埋まっていました。そして、遠方の方ですとか海外の方のために、「オンライン ワークコース」というものもご用意しています。こちらですね。

そして、毎月のセミナーをだいたい2週間ぐらいのブランクあるんですけれども、2週間以内にオンラインでも配信をさせてというかたちになりますので。

ほぼほぼノーカットというか、そういったかたちでリアルとほぼ同じ内容を受講いただくようになっています。

そして、リアルワークコースのほうはリアル受講。当然、オンライン、会員制のサイトというか、研究生だけがアクセスできる専用のサイトをご用意していますので、そこにももちろんのアクセス権利もあります。そしてプラス、スーパーサプライズとなっていますけれども。

石崎：そうですね。

柳田：これちょっと後ほどご紹介します。

石崎：これが大きいです。

柳田：そしてオンラインの方は、オンラインでの受講ができるということになります。ただし、オンラインの方も、石崎さん、大野さん、お会いできる機会もご用意していますので。ちょっとこの後、紹介します。

続いてサポートになりますけれども、まずリアルワークショップのサポートですね。こちらは、当然ですけれども毎回、直接会場での受講が可能と。

さらにですね、講座の中でちょっと石崎さん、大野さんへの質問ができる権利。そして、こちらですね、メールでの質問ができる権利が、リアルワークショップの方はございます。これ、お答えできないものもある。

石崎：そうですね。ほとんどはお答えさせていただこうと思うのですが、中にはちょっとお答えしないほうがいいのかなとかですね、お答えすべきことではないのかなというものに関しましては、こちらではお答えできないかもしれないと、前もってお伝えしておきたいなと思います。

柳田：ただ、これは一期生でも非常に好評でしたので、ぜひご活用はしていただきたい。石崎さんも大野さんも本当に真摯にお答えいただけますので。

あと、オンラインコースの方というのは、直接の質問はあまり出来ないのですが、質問いただいたものに対して、このワークショップ通信で二人がそれぞれ答えてくれると。

石崎：そうですね。

柳田：あと、当然なのですが、このあとご紹介するオンラインワークショップの皆様のサポートというのは、すべてリアルは含まれているということになりますね。

続いてオンラインワークショップなんですけれども、映像・音声で学び放題ということ。これは当然なんですけれど。

もちろん直接会場では受けられないのですが、ただ、ほとんど臨場感た

っぷりにお届けいたしますし、一期生を見ている、やはりオンラインの方は逆に会えない分、すごく熱心というか。

石崎：そうですね、けっこう見込んでいるというかですね。かなり時間もかかっている勉強会になっていますけどね。ちゃんと見ていただいた方がほとんどでしたね。

柳田：本当ですね。すごいですよ。本当に熱心な方が多い印象があります。なので、もちろんリアルのほうが直接というのはありますが、それによって学びが、やる気というか意志があれば、しっかり学べるというのは変わりませんので。

石崎：そうです、はい。

柳田：そしてザ・ワープ通信。これは同じですね。基本的にはリアルと同じものをお届けします。そして皆さん、オンラインの方はご質問いただいたものに対してザ・ワープ通信で講師の方が回答すると。

石崎：そうですね。主に多いご質問、ちょっと個人的なことだとかは当然あれですけど、皆さんのお役に立ちそうなものに関しましては、私たちが答えることで皆さんの役に立つようなお答えをしていきたいなと思いますね。

柳田：続いて特典なのですけども。ここからがちょっと本番になってきますが、リアルワープコースの特典。はい、ドン！ スーパーサプライズ特典ということで価値がもう本当に無限大（ ∞ ）と。

石崎：はい。

柳田：これですね、ワープ インフィニティ専用ですね、そしてあなた専用の五次元言語周波数発信ツールをプレゼントします。

石崎：ちょっと補足しますと、同じようなものがありますけども、まったくワープだけに作った、ちょっと特別な装置になりますのでね。これはもう来ていただかないと手に入らないと。

柳田：こちら、大野さんのほうからも一言いただけますか？

大野：言語周波数の発信ツールということになりますけれども、これは結局どういう情報を発信するかということで、また現象の現れ方も大分変わってくるわけですが。

特にこのワープの場合はですね、和の成功法則に則した、そういったいわゆる言語エネルギー情報というものをに入れて、それを実際に発信して、実験的にお使いいただけるようなですね。

サイズは非常にコンパクトで、普通に鞆に入れたりとか、ポケットに入れて持ち運びの出来るようなものとして、ご用意しております。

柳田：こちらですね、この説明でもずっとセッション 4 を通じて言ってきましたけれども。

デジタルを理解いただいて、デジタルももちろん統合していかないといけないということで、それを理解した方にワープには参加していただこうと思っているのですけれども。

そういう意味で当然この周波数発信ツールというのも付いてくるというか付いてきて、それを使いこなしていただくと。

石崎：そうですね、この言霊の学びを、より正確に速く、本当に適切にですね、最短を実現していくツールになるんじゃないかなと思いますね。

柳田：こちら、一期生の時もものすごく大好評でしたけれども。

石崎：そうですね。

柳田：本当に皆さん専用の、ザ・ワープ専用、わざわざ作ってもらったものをですね。

石崎：中身、同じじゃないのでね。

柳田：はい。どこでも買えませんのでね、これは。楽しみにしていただきたい。値段を言うと非常に高価なんですけれど。

石崎：そうですね。

柳田：それが付いてくるということになります。

石崎：これも統合されているという視点でやっていますので。

柳田：そして、こちら。言霊が宿る重要スポット巡りということで、二泊三日の予定で、いわゆる卒業旅行ということになるのですけれど。

石崎：そうですね。これも今回の第一期生、すごい参加率でしたね。

柳田：15分で埋まっちゃった、もう。

石崎：15分でしたね。僕個人のことを言うと、あまりサラリーマン経験がないとか、20代で独立しているので、その姿を見てですね、社員旅行っぽくていいなど、すごく思いましたね。

柳田：でも本当にリアルに言霊にゆかりがある場所、どことは言いませんけれども巡ったのですけれども。この15分っていうのは、ようは一期生の中で、ちょっと全員というのは無理なので。

石崎：バスの手配とかね、宿泊施設の手配とかがあるので、こちらも限定になってしまいますのでね。

柳田：そうですね。それでも、あまりにも15分で埋まってキャンセル待ちが多かったので2回開催したんですよ。

石崎：そうなんですよね。2回行く羽目になるとは思わなかったですけれどもね。2回目もかなりの人数でしたものね。

柳田：そうですね。これは本当に文字通り温泉も一緒に入って裸の付き合いとかですね。

石崎：3時ぐらいまで飲んでいましたよね。

柳田：そうです。

石崎：僕らもね。

柳田：5時くらい？（笑）

石崎：大野さん、その時、すごく面白いのでね。ぜひ期待していただきたい。何とは言いませんけど。

柳田：大野さん、一言ありますか？

大野：いや、あまり先入観ないほうがいいと思うんですけど。

柳田：場所に関してというのは、どうでしょうか？

大野：場所はですね、前回非常に、2ヶ所それぞれ別のところに行きましたけれども。

本当に言霊とか本来の日本の叡智にゆかりのある場所ということで選んで決めましたので、実際私が初めて行くところもありましたし、今度もどのような場所になるのか非常に楽しみにしているところです。

柳田：本当ね、これは楽しみにしていただきたいと思います。

これ、ちょっと費用は別途になりますけれども、先着順ということだけ覚えておいていただくと。これ、卒業後なので大体2016年の夏ぐらいをイメージしておいていただければと思います。そして、これもすごいです。

石崎：そうですね。

柳田：七沢研究所。さっきオープニングありましたけれども、祝殿（はふりでん）訪問。

石崎：あそこ、そう簡単に入れないんですね、ご縁のある方でないと。そこに当然入っていただいて。いろいろな体感があるんじゃないかと思うんですけども。これも人気というか、何回行きましたでしょうかね。

柳田：そうですね、これは大野さん、どうですか？

大野：やはり最初にご紹介した場所でもあるわけですがけれども。

論より証拠と言いますか、来ていただいて分かることのほうが多いかなと思いますので、あまり事前にどうだっていうよりも。

映像では皆さんご覧いただいたかと思うのですが、来ていただくと真価というのがお分かりいただけるかなと思います。

石崎：あと、食事も楽しみですよ、本当にね。また今回も前回と同じ場所だったら最高ですね。

柳田：最高ですね。ある意味、聖地じゃないですけども、一期生も非常に楽しみにされていた方も多かったですし、ここに来て変わったという声もたくさん聞いていますので。

石崎：ありましたね。

柳田：これもちょっと入りきる数が。

石崎：そうですね、物理的な空間の制約があるので。

柳田：こちらはですね、本当にリアルワークショップの方だけの特典になります。

そして、こちらですね。石崎さん、大野さん、そして七沢先生に直接会えるということ。

実はさっき、ちょっと言っていませんでしたが、石崎さん、大野さんはもちろん毎回会えるのですけれども、6回目の最終回、七沢先生もご登壇予定になっています。

石崎：本当になかなか出てきていただけないと思うんですけどね、普通ですと。こちらワークショップのこと、すごく大切に思っているのでも来ていただけて、また僕とか大野さんとは違うですね、本当に深いお話をですね、聞

かしていただけるんじゃないかなと思います。

柳田：これは本当にすごい特典じゃないかなと思います。

さらにですね、こちら 6 ヶ月目以降ですけれども、先ほどから紹介している国際ロゴシスト協会のほうで学び続けることはもちろん、講師あるいは授業での活躍が出来る、そんな場所もご用意をしています。

石崎：そうですね。もうこちらの勉強会が終わって、当然それだけの知識です、十分社会、自分の人生に活かすことが出来るのですけれども、どんどん研究のほうは進化とか発展していっているんで、そちらのほうを引き続きですね、やりたいという方の受け皿と思っています。

あと、先ほども言いましたように、僕とか大野さんが年に 1 回でこういう形でお話しするには限界がありますので、ぜひね、話すほうに回りたいと、伝えるほうに回りたい方は、講師の道。

あと、言霊の技術を通じたいろいろな事業を考えていますので、そこにご参画いただくというのも、ちゃんと場を用意していますので、それも楽しみにしていただくといいなと思いますね。

柳田：これは本当に驚くべき数字なんですけれども、卒業後にこの協会に入っという方、割合が。

石崎：普通じゃあり得ないぐらいの割合ですよ。

柳田：もうほとんどの方が参加しているといっいいぐらいですね。

石崎：通常はもうね、ご縁が終わるケースもあると思うんですが。これが稼ぐ系のセミナーであろうが、こういった学びのセミナーであろうがですね、本当に残っていただいていますのでね。それだけ感じるものがあつたんじゃないかなと思いますね。

柳田：実際ね、このあとちょっと一期生の中から協会のほうでご活躍いただいている皆様もお呼びしたいなと思っています。

こちらちょっとご覧いただくと分かる通り、これがツアーとかですね、卒業旅行とか、そういったもののみんなの写真なんですけれども。祝殿だったりとか、いろいろなところを巡ります。これ以外もね、飲んだり食べたり。

石崎：そうですね。

柳田：飲んだり飲んだり。

石崎：はい、飲んだり飲んだり、ね。

柳田：そういったところの写真はありませんが、そういったものもありますので。

石崎：聖人君主じゃないんでね、僕たちもね。

柳田：本当にね、楽しんでいきたいなど。以上ですね、リアルワークショップなんですけれども、

こちらオンラインワークショップのほうの特典になります。サプライズありと。これサプライズありとだけお伝えしますが、まあオンラインの方もですね、当然喜んでいただけるもの考えております。

石崎：リアルコースとオンラインコースを本当に差別しているわけでは全然なくて、どうしても物理的な空間の問題があったりして分けざるを得ないという中で、どちらも大切に考えています。

オンラインの方にも、オンラインの方が満足していただけるようなサプライズを用意させていただいております。

柳田：楽しみにしてください。そして、こちらはですね、卒業旅行になるのですけれども、卒業旅行に関してはリアル・オンライン関係なく、同時に皆さん参加していただけます。

石崎：本当にいいですね、普段、リアルの方は時々顔を合わせたりしますけれどもね。オンラインの方ともすごく仲良くされて、ひとつの輪になっていましたものね。

柳田：そうですね。だからオンラインの方もぜひ、たくさん参加していただけたらと思います。ここ本当に、よーいドンで募集開始なので、先着順にはなってしまう。

石崎：そうですね。

柳田：そして先ほど、同じですね、リアルの方と同じ、6ヶ月目以降は協会のほうで活躍できる道は当然あります。

石崎：ありますね。

柳田：オンラインの方もね、本当に優秀な方が多いので。

石崎：たまたま申し込みが間に合わなかったという。

柳田：そういう人も多いんです。

石崎：素晴らしい人も何名も入っていらっしゃいますから。

柳田：海外だからといって海外で受講されて。

石崎：そうですね。どうしても海外の方は、毎月、渡航費用払ってっていう方ばかりではないので。ただ、けっこう毎月、海外から来てる方もいました。

柳田：そうですね。

石崎：びっくりしましたけどね。

柳田：すごいですね。いろいろな世界から来られる。

そして共通特典というのがあります。これは一期生の時、なかったんですけど、6ヶ月の受講終了後にですね、卒業イベントを開催しようと。

リアルワークショップとオンラインワークショップ関係なく合同で、みんなで集まりましょうという機会を設けます。

石崎：大きな会場がいますよね。こちらたくさん人数みえるようですけれど、これ一期生のリアルのだから全員ではないんですよ。これでもね。

柳田：そうですね。本当にオンラインの方は、そういう意味では、たとえば卒業旅行、参加できなかったとしても、こういうイベントありますのでね、ぜひ来ていただきたいなと思っています。

そこで石崎さんと飲んで、大野さんのメガネを確認していただきたいなと思います。コンタクトにするっていうことはないですよ？

大野：ないです。

石崎：飲まずと講義で教えてくれないような話もね、出てくるかもしれないです。

柳田：そうですね。日本酒がお好き。

石崎：ですね。

柳田：はい、ということで、また場面も変わって心機一転ということで、ピヨちゃん、どこでしょうか？

石崎：あれ？ こんなところに。もうね、懐に入ってきてくれましたね。信頼してくれたってことでしょうかね。ピヨちゃんもね。

柳田：ピヨもワープ インフィニティ、参加するんでしょうね。

石崎：小鳥でさえ参加すると。素晴らしい。

柳田：じゃあワープに参加すればどうなれるかというのは、当然その人の意志とかね、こういうものを得たいというものによって違ってはきますけれども、たとえばということでちょっと聞いていただきたいんですけども。

ちょっといくつか挙げてしまいますけれども、こういったことですね。石崎さん、何かありますか？

石崎：とにかく主体性というのが実はあるようでない人が多い。僕もそうだったんですけれど、やっぱり情報とか、日本のもとの社会通念とかですね、上司だとか親の影響受けたりして自分を隠してしまっている部分があるんですけれど。

本当の意味での自分の主体性というのがこれで確立できるんじゃないかと思えますね。本来の自分の人生という意味での主体性ですね。

柳田：大野さん、一言いただけますか？

大野：そうですね。今のお話、ございましたけれども、本当の自分に還れるというかですね、そういう感じになると思うんですね。

なかなか一般的には本当の自分というのが分からなくて、分からない状態にいろいろな知識とかテクニックを身に付けようとしてしまいますけれども、本来の自分というものが、いかに力を持っていたかによって、たぶん気付かれるのではないかと思うんですね。

柳田：受講後で皆さんが活躍できる分野っていうのは、挙げさせていただいているのが、たとえばですけど、講師であったりカウンセラー、農業、整体、サプリメント、水、SE。

石崎：システムエンジニアですね。

柳田：で、エメラルドオーシャンと。

石崎：これ、僕が提唱している働き方ですね。すごく長期継続経営が出来るという。これもあまり人と争わずにということでやっていけるビジネスの概念なんですけれどね。こういうことを一緒にやっていけるんじゃないかと思います。

柳田：そうですね。当然、皆さんもね、それぞれお仕事をお持ちだと思いますけれども、その自分の本業に対する影響というのは当然あるんですけれども。

それ以外ですね、たとえばそのあと国際ロゴシスト協会等々でご活躍いただける分野として、こういったジャンルが。実際に動いたもの含めてなんですけれど、あるということなんです。

石崎：まだ、ちゃんとした発表できませんけれど、本当に農業なんかもそうなんですけれど、すごい可能性を実は秘めています。これも具体的にどうしているかって段階にまで今、協議が入っていますが。

柳田：こちら、大野さんから一言いただいてもよろしいでしょうか。

大野：今ここに出ている例というのは本当に一部だと思うんですね。実際この五次元だとか言霊だとか、そういった世界というのは特に分野に限定されるものでもありませんので、それ以外に自分でこうした事業を展開してみたいということがあれば、そういったものにつきましても、どんどんサポートしていきたいと思っています。

何よりも、冒頭でお話ししましたように、いわゆるロゴシストという、そういうメンバーを数多く育てていきたい、また、そうした方々の活躍をサポートしたいという想いがありますので。

特にこの枠にとらわれずにやりたいことをやるのだと、自分の使命を果たすんだという思いで見ただけならばと思います。

柳田：ありがとうございます。

柳田：まだ来ないですね。

石崎：遅いですね。ピヨちゃんも消えましたよ。どこへ行っちゃったんだろうね。

田名部：危ない。今、ちょっとピヨちゃんを五次元に捕まえに行っていました。

柳田：登場の仕方が森田さんよりも綺麗でしたね。

石崎：さすが。

柳田：ちょっとご紹介させていただきますけれども、ワープの1期生でもあり、国際ロゴシスト協会の代表理事でもある田名部圭介さんです。どうぞよろしくお願ひします。

田名部：どうもよろしくお願ひいたします。

石崎：ピヨちゃんをどけましょうか。

田名部：ありがとうございます。

柳田：田名部さんは、今ずっとワープの今回のワープについてご紹介してきたのですけれども、1期生、先輩というか、その立場から期間中に起こった変化であったりだとか、いろいろちょっとお話しただけならばなあと思うんですけれども。

田名部：僕自身はもともと石崎さんの輸入総代理のセミナーに参加したのがきっかけで、石崎さんと柳田さんとはお知り合いになったんですけれど。

その中で、石崎さんの講義の中で言語周波数という話がチラチラと出てて。最初、僕はすごい疑っていたのですよね。そういう意味ですと。なんか、これは何だろうと。

柳田：輸入総代理のセミナーに来たのに、そういう話を。

田名部：セミナーなのに、この人は言霊とか話し始めたぞということをしごく疑ってしまして。

ただ、疑っていたけど、気にはなっていたのですよ。ものすごく気にはなっていて。こっそりそれを後で使い始めたんですけれど、そうしたときに、僕はもともと物販の事業をやっていたわけなのですが、クレマーがいなくなっただんすよね、ピターッと。

その後、ずっと1年以上もずっといなかったので、言語エネルギーのおかげなのかなというふうに思っているんですけれど。

そこがやっぱりだんだん言霊ってすごいぞと思い始めたきっかけで、その御縁もあってワープってセミナーを今度やることになったんだよってというお話を聞いたときに、これには参加しようと思っていたんですよね。

言霊の機械を事業に活かし始めてから売り上げもボンと上がって、さっきもちらっと石崎さんとかが話が出ていましたけど、3倍ぐらいにボンと売り上げが跳ね上がったんですよ。それがやっぱりものすごいびっくりしたことでしたね。

柳田：石崎さん、どうですか。

石崎：事業が田名部さんもともとポテンシャルのある方なので、もともと3倍ぐらいの物が普通に取れる方だったのだと思うのですね。何かのきっかけでそれが押し上げられたということだと思うのですね。

これがまたつかみとるという形の成功法則を学んでいるのと全然違いますよね。自然とそうなってたって感じじゃないですか。

実際、田名部さんは総代理もいくつか取られて、それがブレイクして売り上げも伸びたという経験になりますよね。

柳田：先ほどの話でなるほどなと思ったのが、もともと売り上げが3倍になりましたけど、3倍になるポテンシャルがあったんだけど、何か行き詰まっていたときに言霊の学びとか出会いによって、スポンと本来の自分の成功とか、行きついたみたいな感じですよ。

なるほど。先ほどからずっと言っていた実は国際ロゴシスト協会のわれわれ理事ですけれども、代表理事として田名部さんになっていただいているのですけれども。

田名部：無茶ぶりでした。

柳田：そのあたりのいきさつはどうですか。

田名部：何かアフターフォローがあるんだってお話は前からいただいていたので、何かこのセミナーをやった後でやるんだろうなあってことは聞いてはいた

んですけれど。

協会を創ることになったんだよって話の次に、代表やってもらえないかというお話をいただいて。

最初、本当にびっくりしたんですけれど。石崎さんの輸入総代理のセミナーを手伝っていたときに、非常に楽しかったんですよ。それがすごく思いとして僕の中であって。

物販は物販でそれなりに成果が出ていたし、実際売り上げもボンって伸びたりとかってこともあって、これはこれでよかったんですけれども、人のサポートをやっていたときにすごく充実していたんですよ。

これはもしかして僕の使命の1つなんじゃないかなっていうふうな思いがありまして、このお話をいただいたときに、ちょっとだけ迷ったんですけれど。

家族にも一応相談をして、こういうことをやりたいんです、いいですかという一応おうかがいを立てて。最初こそ驚かれましたけれど、やってみたらということで一応了解をいただいて、それで即決めました。

石崎：田名部さんのすごいのが、やっぱり統合視ですね。階層視ができるってわけです。

実際ご自身のビジネスが本当にサラリーマンの何倍も稼げていたのにもかかわらず、それを次の方にお譲りしたんですね。若い方にお譲りして、その人からすると棚からぼた餅ですね。

田名部さんは一旦そこでゼロになっているんですけれど、その上で協会の代表理事になられて、これがますます手放したことで階層視して、本来の、さらに本来田名部さんのあるところに来たんじゃないかということで、より飛躍するんじゃないかなと思うのですよね。

これを手放さないっていうか、やっぱり階段を上ってくってという作業っていうのは絶対出てくると思うので、田名部さんは身を持ってやってらっしゃる素晴らしい方だなと思いますね。

柳田：大野さんから一言いただけますか。田名部さんに。

大野：田名部さんと石崎さんと毎回かかわりがあることは知っていましたけれども、やはり実際にせっかく売上げの上がった事業を手放して、この代表理事に就任するというのは、なかなか普通はできないことだと思うのですよね。

ですから、それをしっかり自分の使命だというふうに理解して、それができたというあたりが本当にこの講座の学びでもある、裨いということがしっかりできていますし。

また言霊で新しい現実を作るというのをまさにそのままやっただけしているような感じがありまして。まさにロゴシスト協会の代表にふさわしい方じゃないかなと思っております。

柳田：ありがとうございます。最後に、これをご覧になっている方というのは、かなり最後のセッションですから、本当に気持ちの良い方というか、ついて来られている方だと思うのですけれども。

石崎：長い動画を観ていただいていますものね。

柳田：その方々にメッセージを。

田名部：僕も最初はこの和の成功法則とか、言霊ってことはすごく疑ってかかっていたんですけど、石崎さんとお付き合いをさせていただくようになってから、和の成功法則ってことがよく、だんだん分かるようになってきたんですよ。

僕も石崎さんほどではないんですけど、西洋系の成功法則っていうものをいろいろ試しましたし、なかなか形にならないなっていう思いを持っていたんですけども。

この和の成功法則に関していえば、本当に自分の心もすごく清明になりますし、いろいろな意味で自分の人生そのものがどンドン変ってきているという実感を持っていますので。

ここで本当に自分の人生を転換したいなって思っている方にはぜひお勧めした

いなくなっていうふうに思っています。

柳田：ありがとうございます。

石崎：ありがとうございます。

田名部：ありがとうございます。

柳田：田名部さんもそろそろ五次元に帰らないといけないってことなので。

田名部：ちょっとピヨちゃんを連れて。ありがとうございます。

柳田：ありがとうございました。

大野：本当に消えましたね。

石崎：消えましたね。やはり自由自在に五次元と四次元を行き来できるようになってしまいましたね。田名部さんもね。

柳田：そうですね。

石崎：最初疑っていたようですがね。

柳田：はい。

ということで、代表理事も五次元に消えちゃいましたけど、もう一方、
実はお呼びしています。さっきまでずっと男性ばかりでむさ苦しかったので。
この音楽は、何ですかね？

石崎：何でしょうね。これは。五次元の音楽ですかね？（笑）

柳田：五次元の音楽がなっていますが。おっと。（笑）

石崎：ミス言霊が。（笑）

柳田：ミス言霊。（笑）ピヨちゃん連れてきてくれてますね。

大串：はい（笑）

石崎：五次元で手渡されたんでしょうね。たぶん。

柳田：田名部さんにさっき会いましたか？

大串：はい。五次元のほうで。（笑）

柳田：ということで、1期生の大串有里さんですね。

大串：はい。

柳田：お待たせしました。

大串：はい。大丈夫です。

柳田：ちなみに、これ、音楽なっていますが、これは大串さんが作られたということ。

大串：そうですね。音楽をミックスしてDJをやるのですが、その音楽にちょっとある仕掛けをしているCDなんですけれど。

柳田：これは、ある仕掛けというと言霊的な何かを？

大串：はい。言霊の周波数を入れてあります。

大野：すごいですね。本当に。

柳田：DJということなのですからけれども、実はどちらからお越しいただいたんでしょうか。

大串：ドイツのベルリンです。

柳田：ベルリンですよ、石崎さん？

石崎：すごいですね。僕も初めてお聞きしたときにびっくりしまして。ベルリンでDJやられていたとは、本当にすごいですよね。

柳田：そんな方がリアルコースに来られて。1回目から。ベルリンから来ましたっておっしゃっていたんですけれども。(笑)

石崎：何かの冗談かと思いましたがね。(笑)

柳田：これはどうしてベルリンから来られようと思ったのでしょうか？

大串：音楽を通じて公のために働きたい、貢献したいという思いがすごくあったのですが、やはり自分の情緒の問題。

そういう自分の状態がすごく不安定だったりとかすることで、やはり音っていうのも周波数で、自分自身もそういう周波数で量子力学とかでも言われていると思うんですけれど、

意志とか思考とかそういうものもすごくブレると、音楽にそれが乗って、それが伝わっちゃうっていうことがありまして。

それで音楽で貢献したいっていうことと真逆のことをやっちゃっているなと感じて。それだったら、もうやっている意味がないと思ったので、それでもうとにかく自分をブレない状態にしたいっていう思いがすごくあって、思っている時間がすごく長かったんですけれど。

変わりたいって意志を発信した次の日に、日本人のお友達とドイツで一緒に住んでいたのですけれど、面白い動画を見つけたよって言われて、みんなで観てみようってなって、それがワープ1期生の動画だったのですね。そこにもう私が求めていた全てがありまして、それで。

石崎：嬉しいですね。
わざわざベルリンから日本にこのためだけに帰って来られたという。本当に。

大串：そうですね。

柳田：毎回通ったっていうのも、そのために、ワープに出るっていうことで

日本に帰ってきたと。

大串：動画を観たときに、ちょうどもう帰りのチケットを持っていたのですね。

持っていて、それは一時帰国で帰りのチケットも持っていたのですが、ちょうど1月スタートの時期に日本にいてということで、もう帰りのチケットはもう捨てて、東京に引っ越しちゃおうっていうことにしました。

石崎：すごいですね。

柳田：すごいですね。

石崎：本当に。即断みたいな、即決みたいなね。

大串：そうですね。もう間違いないと思いましたね。

柳田：意志を發した翌日にそうやって友達から来て、去年は今年ほど石崎さんは派手なあれじゃなかったけど、衝撃な映像だったと。(笑)

大串：はい。衝撃でしたね。(笑)

石崎：実際学んでみられて、どうでしょうか。ぶっちゃけた話。

大串：学んで。そうですね。

すごく自分自身が現実を創造しているということとか、そういう確信はあったのですが、やっぱり普通に生活していると、色々な感情の問題とか出てきてブレてしまうので、そこをブレなくするっていうので、その方法とか、そういったものをたくさん教えてくれましたね。

やっぱりその場にいることですごく意識の高い人たちが集まっているので、そういう場にいることで自分自身がブレなくなっているっていうのはすごく思いますね。

柳田：当初の目的だったというか、それがワーブ出ることによってブレなくなってきたと。

大串：はい。

石崎：音楽の活動にも大きな変化になって変わったと。

大串：そうですね。もう本当に細かいことを気にしなくなったというか。本当にこんなふうに思っちゃうの、すごい自信のなさとか、嫉妬とか、そういったことは本当になくなりましたね。

石崎：嫉妬は結構なくなるのですよね。結構皆さん、結構嫉妬心っていうのがすごくありまして。人間はですね。

それは生きてかないといけないので、自分より良い生活していたりとか、稼いでいたりとか、良いポジションにいる人のことをやはり憧れもありまして。

ちょっとやっぱりやっかみから嫉妬、批判になったりするんですけど、それが綺麗に取れてくるというか、良い意味で人は人、自分は自分っていうことがたぶんストーンと落ちるんですよね。

柳田：本当に鳴っている音楽と同じようと言霊を乗せたものを作ったということで。大野さん、どうですか。大串さんに関しては。

大野：音楽っていうのは本当にこれは日本でも科学とかそうですし、海外でも昔からシュタイナーとかグルジェフとかいろいろやってきた歴史がありますけれども、もちろんこれはクラシックも含めですね。

大串さんがまさにドイツから日本に来たっていうのは、これからの潮流を表しているのではないかという、そんな感覚もありまして。

実際、研究所のほうも結構、世界中からいろいろな方、来られますし。今回ワークショップでも、本当にヨーロッパ、アメリカ、南米、またアジア地域ですね。

相当海外の方が来られていますけれども、特にこういった音楽のまた感性を持った方がドイツからこちらへ来られたっていうのは、1つは嬉しいです。

またそういった成果というか、実際着々と作っておられるというのは、ある種、

当然というところもあるのですけれども、実際にあると嬉しいっていうのは正直なところですね。

柳田：この音楽が買いたいっていう人はどうすれば手に入るでしょうか。

大串：今、売ってはいないのでけれども（笑）

石崎：ワープ2期の会場でね。（笑）

大串：はい。（笑）

柳田：最後にですね、こちら、長いセッションになりましたけれども、ご覧いただいている皆さんにちょっとメッセージをいただきたいと思うのですけれども。

大串：何よりもこの今までの動画を観て、ピンときた方は本当にすごく意識が高い先生方、先輩方とか、本当に素晴らしい人たちがたくさん集まっていて、その本当に仲間ができるっていうところがすごく大きなことだと思います。

学びも、もちろんそうですが、本当に素晴らしい人たちがたくさん集まっているので、本当、ピンときた方はぜひ来ていただいたら得るものはすごく大きいと思います。

石崎：ありがとうございます。

柳田：ありがとうございます。ということで、大串さんもマスターしていると思いますので、そのまま五次元のほうにまた帰られると思いますけれども。

石崎：大串さんもほとんど参加されていきましたよね、旅にも。コンプリートというか、もう全部皆勤賞というか、されましたよね。

柳田：気合いが違いましたね。

石崎：すごかったですね。

柳田：ということで、本当に素晴らしいメッセージをありがとうございました。

またピヨちゃん連れて。ありがとうございました。さすが。

石崎：早いですね。瞬間に自由自在に行き来していますね。

柳田：はい。ここまで、本当に長らくご覧頂きましてありがとうございます。

石崎：もう変な映画より全然長いですね。

柳田：本当にここまでついてきてくださっている方、ありがたいのですが、ピヨちゃんも無事戻ってきました。

石崎：帰ってきましたね。

柳田：ここまで、ザ・ワープ インフィニティのビジョンであるとか、使命であるとか、あるいは特徴、そしてどういった内容であるか。

そして、それぞれのリアルワープコース、オンラインワープコース、についても説明していきました。1期生の皆さんにも出ていただきました。伝えることはもうほぼ伝えきりました。

あとは、募集方法というのをご紹介したいと思うんですけども。こちら、われわれは研究生と呼ばせていただいています。

石崎：生徒さんではないのですよね。

柳田：そうですね。

石崎：私たちも研究をしていますので、一緒に研究生だと。

柳田：そして、考え方として、受け身というか、生徒さんとして受けるというのではなくて、意識進化と一緒に研究していく。つまり、実験に参加するとか、そういう意味で研究生と呼ばせていただいています。

その第2期の募集ですが、こちらになります。

12月9日の水曜日、お昼の12時から12月12日の土曜日の4日間、84時間の限定募集とさせていただきます。

ただし、リアルワークコースに関しましては、先ほどからずっと申し上げてきましたけれども、本気で取り組む人に来ていただきたいということ。あるいは、会場の関係、そして、スーパーサプライズな特典がついていること。

あるいは、石崎さんと大野さんに直接な質問ができるということもあって、こちら、少人数限定となっています。昨年、本当にわずか7時間で満席になってしまいました。これは本当なんですけれども。

石崎：そうですね。

柳田：今回は、同じ会場ということもありますので、同じ人数ということになってしまいますので、これまでの皆さんもコメントとかを拝見していると、やはりこれはどうなるか分かりませんが。

石崎：結構早く埋まるのではないのかなっていうのは思いますね。あと、1期の方々が本当にこれちょっと手前味噌なのですが、自分のご友人ですとかお知り合いにかなりお勧めしているんですね。

僕らっていうよりは、実際これ学ばれた方が強くお勧めしていただいている、もう何人もされているものですから、そういった方々がたぶん入ってくるんじゃないかなと思いますね。

柳田：僕、それが一番嬉しいところで。

石崎：嬉しいですね。

柳田：何よりの証拠というところなんですけれども。1期生がそれだけ満足していて、どうしても受けさせたいということで、すごく沢山の推薦を頂いていますので。

とにかく興味ある方というのはちょっとこの後、説明させていただきますけれども、最優先案内というのを用意していますので、ご登録いただいておりますことをお勧めします。

そして、ちょっと手前味噌ですけれども、本当にこれだけの叡智というのを公開して学べる場所というのはおそらくどこにもないと思いますね。

石崎：ないですね。あと大野さんから説明があると思うんですけれども、これだけのことを学ぼうとすると、もう本当に一生を捧げるぐらいのやはり時代もあったわけですので、そういったものが学べてしまうっていうのは本当大きいですよ。

柳田：ここに挙げていますけれども、あえて説明しないのですけれども、これだけのものが全部含まれている。

まさにワープ・インフィニティと言っていますけれども、無限大ではないかなというふうに思います。

石崎：自分の人生が本当、無限に広がるっていう感覚を持てると思いますね。

柳田：そうですね。ということで、皆さん、気になる入講費に関してなんですけれども、こちらにかんしては、すいません。

石崎：もったいぶりますね。(笑)

柳田：すいません。12月の6日、日曜日に発表させていただきます。先ほど言いましたけれども、12月9日の水曜日から募集開始ですので、まず、今日のところはセッション4をしっかりと観ていただいて。

そして、その上で日曜日に12月6日に入講費のほうも発表させていただきますので、それを観た上で。

石崎：そうですね。

柳田：それを観た上で参加したいという方は、12月9日からの4日間でお申し込みいただきたいなど。

石崎：これ、今までの感情を忘れていただきたいのですね。これはもう、客観視していただいて、自分に本当に必要だと思えば、高いとか安いとかっていう判断ではなしに、必要かどうかでご判断いただけるといいかなと思いますね。

もちろん、不必要な方は学ぶ必要性がないと思いますね。

柳田：本当に直感で。

石崎：直感だと思いますね。先ほどの大串さんも直感で来ていただいたように、本当に直感だと思います。頭で考えるっていう、行為はどんどん減っていきま
すので、特に言霊やっていますとね。

柳田：こちら、ちょっとご覧いただきたいのですが、最優先案内という
のが、皆さんご覧になっている動画の下のほうにあると思います。

少しでも研究生として参加することに興味がある方は、最優先でご登録いた
だきたいと思います。

そうすると、12月9日のお昼12時から募集なのですが、登録されている
方だけは、先行でその日の朝6時からお申し込みが可能になります。

石崎：つまり、ワープできるってことですね？

柳田：ですね。

石崎：なるほど。良い仕組みですね。今、ちょっとふと思いついたんですがね。

柳田：本当にワープできるので、昨年7時間でリアルワープコース申し込みが
埋まったと言いましたけれども、これは朝の6時から昼の時点で埋まってしま
って、もう13時の段階では締めたということになりますね。

石崎：そうですね。だからキャンセル待ちがすごい出ましたね。「何で入れてく
れないんだ」みたいな。

こちらは、本当に会場が物理的な空間なので、広げようがないんですよ。
ご容赦だけいただきたいなと思います。

柳田：ですから、本当に興味のある方、最優先案内にぜひメールアドレスをご
登録いただいておりますことを本当に、昨年の経験からも強くお勧めさせていた
だきます。

大野さんのほうから、ちょっとこういった学びに対する姿勢というか、そういったところについても一言いただきたいのですけれども。

大野：今回の発表する内容、前回もそうですけれども、相当私どもとしても覚悟して出す内容ですし、

前回出したときもやはり神道とか言霊とか、そういった団体とか、こんなことを本当に公表していいのかという苦情というか、そういったのも来たりして、それも全部対応いたしました。

結局わたしがそのときにどうやって言ったかというのと、今もうそういう時代じゃないでしょうと。つまり、自分たちのとこでそういった大事な情報を囲ってそれで本当にいいんですかってことを返信さし上げたのですね。

ですから、そういう、もしそれが、たいした情報でなければ別に周りの方も何も言ってこないと思いますけれども、そういうクラスのものを出すっていうことなわけですね。

かつて、やはりこういった知識というか、情報を得るっていうと、それこそ、お金とかそういう問題じゃないんですね。

やっぱりそういうある師匠がいて、その本気度ですとか、それこそ本当に一生もうそこにかけるっていうくらいの気迫がないと当然教えてもらえなかったという時代もありました。

その当時は本当に言い方はなんですけれども、自分の本当にそれまでの全財産全部つぎ込んで、ようやくそれが通った場合通るような、教えていただけるようなそういう時代もあったというふうに聞いています。

それぐらい本当の情報ということを提供すると。また、これ、実際にそれを提供するというのは、私どもとしてもリスクがないわけではないんです。

ですから、そういったリスクの問題よりもやはりこのままの日本でいいのか。また、地球でいいのかって問題を踏まえて、この度の情報を出すっていうことになりますので、そのあたり、一方的ではありますけれども、ご理解いただけ

ると非常にありがたいかなって思います。

柳田：ありがとうございます。

いよいよ最後になりますが、本当にこちら繰り返し述べてきたことですが、沈みゆくタイタニック号のまずは浸水を止めて、貢献していく。

それって本当に人生捧げる価値があるんじゃないかなと。その上で大好きなワインを飲んでいければ。

石崎：公をやってから、公をやると私も充実するので、今までやはりどうしても西洋の成功法則とかに、まず私。

私をしてから公って、これ逆転の発想でやるとすごくお母さん、ようは公っていうのはお母さんなので、お母さんが味方してくれると結構簡単ですね。そっちのほうがね。味方してもらったほうが簡単ですよ。

柳田：そんな新しい時代の成功法則の先駆者になっていただきたいと思います。ということで、本当にもう無限大の可能性を持つあなた自身にワープしていただきたいなど。

石崎：それぞれの分野で無限大のやはり感覚が出てくると思いますね。びっくりですよ、これは。

柳田：はい。ということで、本当に長らくお付き合いいただきましたけれども。

最後に石崎さんと大野さんから一言ずついただきまして終了したいと思います。まずは、石崎さんのほうからお願いします。

石崎：全4回に渡るもう映画のように長い動画をご覧いただきまして、誠にありがとうございます。

冊子のほうも私のほうと大野さんが書いた物は本当に本1冊分ぐらいお互いありますので、これを読み込んでいただいだけでも大変なお時間とエネルギーを費やすのではないかと思います。

僕に関しましても、さっき言いましたようにビジネスだけやっていけばいいものを、大勢の前にこういったインターネットで顔を出してやっております。

中にはよろしく思わない方もいらっしゃると思うので、ネットで書かれたり、そういうのももう全部覚悟の上でやっております。

それだけ、もっと僕ももっと道標になる人が日本にできてこないと本当、つまらない時代になってきているなど思うのですね。単に、やり方だけが横行して、そのやり方に振り回されている人が非常に多いのです。あっという間に人生終わってしまいますので、それではいけない。

やはり自分が生きた証っていうのをしっかり自分のできる範囲で自分の今世でやらないといけないことをやっていただいて、この人生やり切るっていうのは何よりも成功だと思います。

それを全て解明できる及び後押しできるだけの叡智をしっかりとお伝えできると思いますので、ぜひピンと来た方は運やセンスではありませんが、気持ちよくお越しただいただければと思います。

ぜひお仲間になっていただければと思います。ありがとうございました。

柳田：ありがとうございます。

それでは最後に大野さんのほうからお願いいたします。

大野：先ほど、石崎さんがおっしゃった通り、本当に長い時間のビデオを観ていただきまして、心よりお礼申し上げます。

最後に言いたいことがあるとすれば、今回の公とか私っていう世界についてお話いたしましたけれども、いきなりこの公っていうのは、行けるっていうのは難しいところもあるのですよね。

実は、これは私っていうのをしっかり充実させた後に公に行けるっていう、ある種のステップというか、流れみたいなものがありまして。

ですから、いきなりみんなのためっていう、もちろんそれはゴールではありませんけれども、それだけではなく、まず自分、または自分の身の回りの方々の

幸せ、その延長上に公の幸せがあり、逆にそれが自分にまたフィードバックと
いうか、返ってくる世界があるのですね。

同じようにこの公の世界というのを「大欲」という、大きい欲としますと、実
はその逆が「小欲」ということですね。自分のための欲。

ところが、この小欲を持ってない人っていうのは、大欲も持ってないのですね。

ですから、皆さん勘違いされるのは、小欲を持っていると何かマズイのではな
いかなって思うかもしれませんが、小欲がないと大欲に行かないわけですね。
つまり、いきなり大欲ってわけにいかないわけです。

ですから、この両方を充実させる道というのがこれから求められる道であり、
いわゆる自分も他者の成功も一致したものになるっていうのは、これはもう必
然的な成功の法則であり、これからご縁のある方々と一緒にこの学びができる
っていうのは非常に楽しみであります。

今回お付き合い頂いたことに対して非常に感謝申し上げる次第です。どうもあ
りがとうございました。

柳田：はい。ありがとうございます。

ということで、本当に 4 セッションに渡ってお付き合いいただきまして、ただ
ただ言いたいことは、本当に画面の向こうの皆さんにありがとうございました
ということですね。

石崎：そうですね。本当に長かったと思いますしね。1 期の方も皆さん、こちら
出ていただきまして、ありがとうございます。

柳田：そうですね。はい。どこに行ったのでしょうか。

石崎：皆さん、五次元と四次元を行き来していらっしゃいますので。自由自在
になっていらっしゃるのではないですかね。

柳田：ピヨちゃんも最後までいましたね。(笑)

石崎：はい。(笑)

柳田：ということで、我々が伝えたかったことは充分たぶんご理解いただけだと思いますので、最後は本当に自分自身で決めていただきたいなと思います。

ということで、和の成功法則-ザ・ワープ・プロジェクト、以上を持ちまして一旦終了とさせていただきたいと思います。

石崎：2016年もうあと2ヶ月後とかには始まるわけですから、ぜひ良い1年にさせていただきたいなと思います。今年も良い1年で締め括っていただければと思います。

柳田：それでは、石崎さん、本当にどうもありがとうございました。

石崎：ありがとうございました。

柳田：大野さんも本当にありがとうございました。

大野：ありがとうございました。

柳田：ありがとうございました。皆さん、本当にありがとうございました。

石崎：ありがとうございました。

大野：ありがとうございました。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

あなたが、『ザ・ワープ∞』の掲げる志に賛同いただけるなら、

ぜひ、最後のコメントをお願いします。

以下の質問へのご回答をお願いいたします。

出来れば1, 2, 3全てコメントいただきたいですが、何でも結構です。

まずはコメントすることが大事ですので、

ほんのちょっとでも投稿してください。

1、セッション全体を通じてのあなたの変化や今後の意気込み

2、もし、ザ・ワープ∞のビジョンに賛同し、参加に興味がある方

はあなたの言葉で、意気込みをお聞かせください。

(書いたら入らなければいけないなどは一切ありません。まだわからない場合は、書かなくても結構です。興味ある方は誰にも遠慮なくお書きください)

3、石崎さん、大野さんへのラストメッセージ

コメントいただいた方には、

「立ち飲み総括&ラスト・メッセージ」

をプレゼントいたします。

☆コメント、コメント特典のご請求はこちらから☆

⇒ http://the-warp.jp/session/?page_id=214

Copyright © Powered by first-penguin